

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 富山県部会

平成30年12月27日(木)

10:00～11:30

富山河川国道事務所3階 大会議室

< 議 事 次 第 >

1. 開 会
2. 富山県部会長 挨拶
3. 議 題
 - (1) 平成30年度の活動状況の報告
 - － 建設系学生・生徒への取り組み
 - － 中学・小学校（保護者や教員等含む）等への取り組み
 - (2) 平成31年度の活動予定
 - (3) 議題及び報告事項 意見交換 等
4. 閉 会

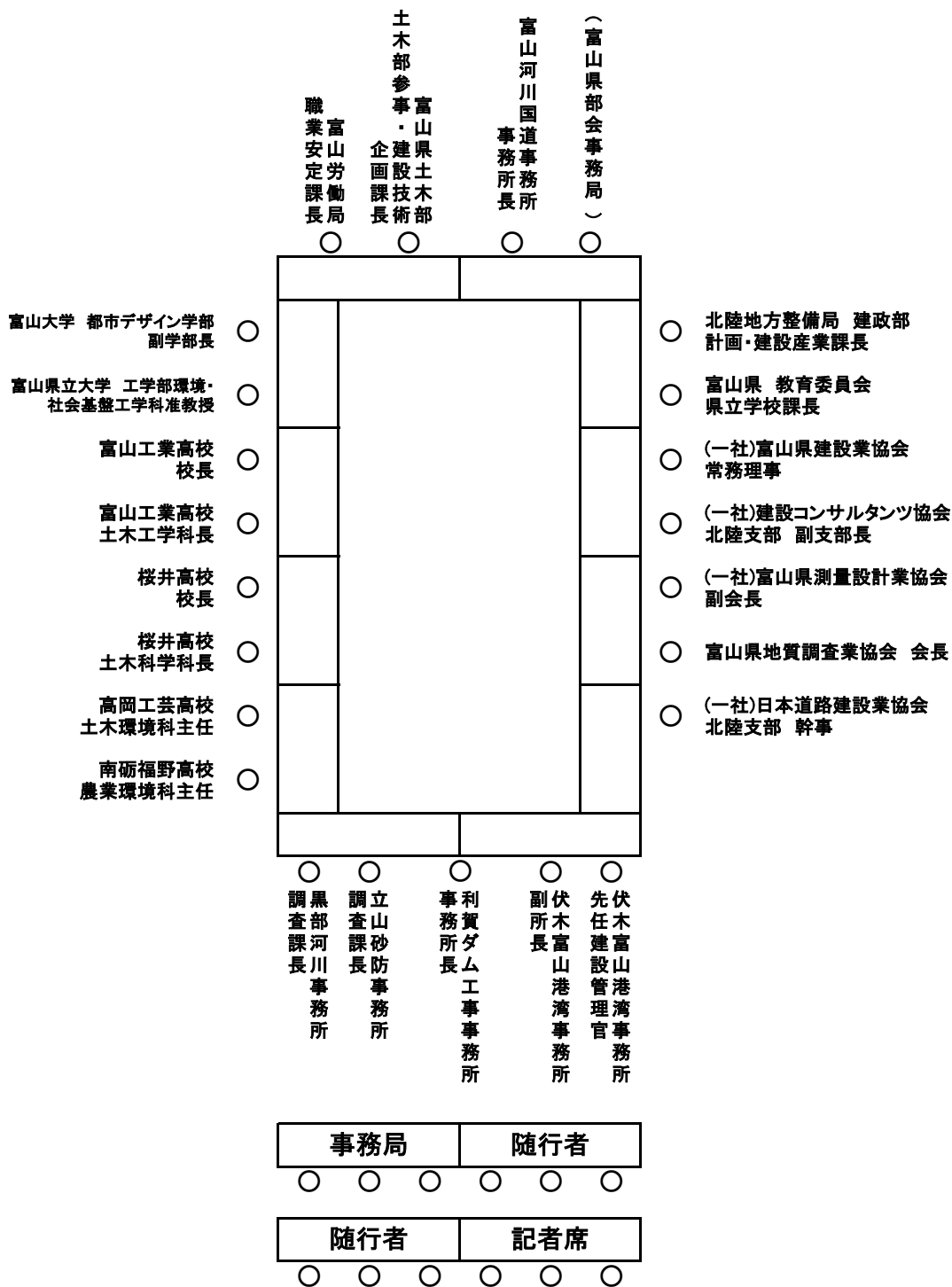
< 配 布 資 料 >

- ・議事次第、配席図、出席者名簿
- ・資料1 設立趣旨・規約
- ・資料2 平成30年度活動報告
(建設系学生・生徒、中学・小学校(保護者や教員等含む))
- ・資料3 富山労働局からの情報提供
- ・資料4 平成31年度活動予定
- ・資料5 議題及び報告事項
- ・その他配布資料
 - 合同企業セミナー（新潟県部会）報告
 - 平成31年度建設フェア参加依頼
 - 担い手カレンダー

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 富山県部会 配 席 図

日時:平成30年12月27日(木)10:00~11:30

会場:富山河川国道事務所 3階大会議室



出入口

出入口

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会富山県部会 2018/12/27 出席者名簿

所 属	役 職	氏名	出席
(一社)日本建設業連合会 北陸支部	総務副委員長	平井 秀樹	欠
(一社)富山県建設業協会	常務理事	木嶋 弘	○
(一社)建設コンサルタンツ協会	北陸支部 副支部長	山本 信二	○
(一社)富山県測量設計業協会	副会長	金木 春男	○
富山大学 都市デザイン学部	副学部長	堀田 裕弘	○
富山県立大学 工学部環境・社会基盤工学科	准教授	手計 太一	○
富山工業高校	校長	松倉 泉	○
	土木工学科長	帰山 寛	○
桜井高校	校長	杉原 栄	○
	土木科学科長	稲垣 利治	○
高岡工芸高校	土木環境科主任	内山 純治	○
南砺福野高校	農業環境科主任	中藪 睦	○
富山労働局	職業安定課長	山崎 英治	○
北陸地方整備局 建政部	計画・建設産業課長	愛内 友治	○
○富山河川国道事務所	事務所長	福濱 方哉	○
富山県	土木部参事・建設技術企画課長	吉岡 浩二	○
富山県教育委員会	県立学校課長	本江 孝一	○
富山県地質調査業協会	会長	津嶋 春秋	○
(一社)日本道路建設業協会	北陸支部 幹事	林 和夫	○

(代理)建設専門官
永井 秀幸

(代理)指導主事
加藤 敏秀

○：部会長

オブザーバー

黒部河川事務所 事務所長 古本 一司(代理：調査課長 岡嶋 康子)
立山砂防事務所 事務所長 大坂 剛(代理：調査課長 高橋 至)
利賀ダム工事事務所 事務所長 山田 幸男(代理：調査設計課長 藤本 昌利)
伏木富山港湾事務所 事務所長 金丸 佳介(代理：副所長 風間 悟)

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

設立趣旨

北陸地方における建設界では、少子高齢化の進展や労働人口の減少に加え、近年の建設投資の大幅な減少による受注競争の激化等により、建設業者数や建設業就業者数も減少しており、とりわけ離職者の増加や若年入職者の減少等の厳しい状況に直面している。また、これらの状況については、これまで建設界の持つ魅力を建設界全体として発信することや建設界に対する好印象を醸成することが、うまくできてこなかったことも主因の一つと考えられる。

このような状況下においては、将来にわたる社会資本の整備・維持管理及びその品質確保や、冬期の除雪を含む災害時の対応等を通じた地域の維持等に支障が生じることが懸念されることから、地域における担い手の確保・育成は極めて重要な課題となっており、平成２６年には、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」、「建設業法」「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」のいわゆる担い手三法が改正され、建設工事の担い手の育成と確保について、建設業者団体や国等の責務が明確化されたところである。

上記をふまえ、北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって担い手の確保・育成の取組みを推進することを目的としたプラットフォームとして、「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」を設置する。

「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」規約

（設置）

第1条 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（目的）

第2条 協議会は、北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって担い手の確保・育成の取組みを推進することを目的とする。

（構成員）

第3条 協議会の構成員は、別紙1のとおりとする。

（座長）

第4条 協議会の座長は、北陸地方整備局長をもってあたる。

2 座長に事故があるときは、構成員のうちから座長が指名する者が、その職務を代理する。

（会議）

第5条 協議会の会議は、座長が招集する。

2 構成員は、あらかじめ指名した者を代理として会議に出席させることができる。

3 座長が必要と認めるときは、構成員以外の者に対し、協議会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

（部会）

第6条 地域における特定の課題等について検討を行うため、新潟、富山、石川の各県に部会を置く。

2 各部会は、別紙2に掲げる会員をもって構成する。

3 各部会の部会長は、別紙2のとおりとする。

4 部会長が必要と認めるときは、会員以外の者に対し、部会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

（事務局）

第7条 会議および部会の庶務は、北陸地方整備局企画部及び建政部が関係機関の協力を得て処理する。

（雑則）

第8条 この規約に定めるもののほか、会議の運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。

附 則 この規約は、平成 2 6 年 1 0 月 3 日から施行する。

附 則 この規約は、平成 2 7 年 3 月 1 7 日から施行する。

附 則 この規約は、平成 2 8 年 3 月 2 4 日から施行する。

附 則 この規約は、平成 2 9 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 この規約は、平成 3 0 年 2 月 1 日から施行する。

附 則 この規約は、平成 年 月 日から施行する。

北陸建設会の担い手確保・育成推進協議会 構成員

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部長
2	(一社) 新潟県建設業協会	会長
3	(一社) 富山県建設業協会	会長
4	(一社) 石川県建設業協会	会長
5	(一社) 建設コンサルタント協会	北陸支部長
6	(一社) 新潟県測量設計業協会	会長
7	(一社) 富山県測量設計業協会	会長
8	(一社) 石川県測量設計業協会	会長
9	新潟大学 工学部 建設学科	
10	長岡技術科学大学 環境社会基盤工学専攻	
11	富山大学 工学部長	
12	富山県立大学 工学部 環境工学科	
13	金沢大学 理工研究域 環境デザイン学類	
14	金沢工業大学 環境・建築学部 環境土木工学科	
15	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科	
16	石川工業高等専門学校 環境都市工学科	
17	新潟工業高校	校長
18	新発田南高校	校長
19	富山工業高校	校長
20	小松工業高校	校長
21	金沢市立工業高校	校長
22	新潟労働局	職業安定部長
23	富山労働局	職業安定部長
24	石川労働局	職業安定部長
25	◎北陸地方整備局	局長
26	北陸地方整備局	企画部長
27	北陸地方整備局	建政部長
28	○北陸地方整備局	環境調整官
29	信濃川河川事務所	事務所長
30	新潟国道事務所	事務所長
31	○富山河川国道事務所	事務所長
32	○金沢河川国道事務所	事務所長
33	北陸技術事務所	事務所長
34	新潟県	土木部長
35	新潟県教育委員会	高等学校教育課長
36	新潟県教育委員会	義務教育課長
37	富山県	土木部長
38	富山県教育委員会	県立学校課長
39	石川県	土木部長
40	石川県教育委員会	教育次長 兼 学校指導課長
41	新潟市	土木部長
42	北陸地質調査業協会	理事長
43	(一社) 日本道路建設業協会北陸支部	支部長

◎ : 座長

○ : 部会長

富山県部会会員名簿

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部 総務副委員長
2	(一社) 富山県建設業協会	常務理事
3	(一社) 建設コンサルタント協会	北陸支部 副支部長
4	(一社) 富山県測量設計業協会	副会長
5	富山大学 都市デザイン学部	副学部長
6	富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科	准教授
7	富山工業高校	校長
8	富山工業高校	土木工学科長
9	桜井高校	校長
10	桜井高校	土木科学科長
11	高岡工芸高校	土木環境科主任
12	南砺福野高校	農業環境科長
13	富山労働局	職業安定課長
14	建政部	計画・建設産業課長
15	○富山河川国道事務所	事務所長
16	富山県土木部	建設技術企画課長
17	富山県教育委員会	県立学校課長
18	富山県地質調査業協会	会長
19	(一社) 日本道路建設業協会	北陸支部 幹事

○：部会長

平成30年度の活動一覧表 【建設系学生・生徒への取り組み】

資料2-1

平成30年12月現在

	学校名	学年	人数	時期	内容	機関・団体名	支援・連携状況(機関、業団体等)	H30 新規 or継続
1	桜井高校	部活(2年)	10	8月8日	小黒部谷流域砂防現場見学、意見交換	黒部河川事務所		新規
2	桜井高校	1年	40	10月18日	宇奈月ダム見学	黒部河川事務所	富山県建設業協会入善支部	継続
3	桜井高校	2年	40	11月22日	河川工事現場(音澤災害復旧)	黒部河川事務所	富山県建設業協会入善支部	継続
4	桜井高校	2年	未定	2月	講座(土木について) ※民間と公務員の仕事の違い等	黒部河川事務所	富山県建設業協会入善支部	継続
5	富山大学	1年生	45	6月22日	常願寺川の特徴や砂防事業の重要性等々の講義	立山砂防事務所	富山県土木部砂防課	新規
6	県内大学		9	8月23日	常願寺川の特徴や砂防事業の重要性等々の講義	立山砂防事務所	富山県総合政策局企画調整室	継続
7	県内高校		37	7月23日	常願寺川の特徴や砂防事業の重要性等々の講義	立山砂防事務所	富山県総合政策局企画調整室	継続
8	桜井高等学校	3年生	4	7月31日 ～ 8月2日	砂防工事の現場体験及び現場見学(SABO体験楽校) ※2泊3日	立山砂防事務所	(一財)富山・水・文化の財団	継続
9	富山工業高等学校	2年生	5	7月31日 ～ 8月2日	砂防工事の現場体験及び現場見学(SABO体験楽校) ※2泊3日	立山砂防事務所	(一財)富山・水・文化の財団	継続

10	富山大学		6	7月20日	富山大学フィールド実習(常願寺川において「急流河川と治水の歴史」をテーマに治水工法等に関する講座および現場見学を実施)	富山河川国道事務所		継続
11	富山工業高校			12月14日	富山:「社会資本整備の歩み」と題して河川・砂防・道路事業の歴史・背景、災害時の対応などを説明	富山河川国道事務所 伏木港湾事務所		新規
12	高岡工芸高校	3年生	29	5月21日	砺波東バイパス現場見学会	富山河川国道事務所		継続
13	金沢工業大学	1年生	98	6月22日	砺波東バイパス現場見学会	北陸地方整備局 企画部	金沢河川国道事務所 富山河川国道事務所 利賀ダム工事事務所	継続
14	高岡工芸高校	2年生	28	9月21日	砺波東バイパス現場見学会	北陸地方整備局 企画部	一般社団法人 富山県建設業協会	新規
15	富山工業高校	2年生	40	9月28日	猪谷楡原道路現場見学会	北陸地方整備局 企画部	一般社団法人 富山県建設業協会	新規
16	南砺福野高校	1年生、3年生	32	10月23日	砺波東バイパス現場見学会	北陸地方整備局 企画部	一般社団法人 富山県建設業協会	新規
17	富山県立大学	3年生	25	11月12日	小矢部地区交通安全対策事業現場見学会	北陸地方整備局 企画部		新規
18	金沢工業大学		49	6月22日	現場見学(ダム建設や工事用道路[橋梁工事]について説明)	北陸地方整備局 企画部	金沢河川国道事務所	継続
19	南砺福野高校	1+2年	36	7月12日	現場見学と講座(ダム建設や工事用道路[橋梁工事]について説明、女性&若手職員による現在の仕事について説明)	利賀ダム工事事務所		継続
20	富山県立大学	1年	33	7月18日	現場見学(ダム建設や工事用道路[橋梁工事]について説明、女性&若手職員による現在の仕事について説明)	利賀ダム工事事務所		継続
21	石川工業高等専門学校		6	10月22日	現場見学(ダム建設について説明)	利賀ダム工事事務所		継続

22	長岡技術科学大学		17	11月28日	現場見学(ダム建設や工事用道路[橋梁工事]について説明)	利賀ダム工事事務所		新規
23	富山県立大学	2年生 ～ 4年生	20	5月31日	北陸地方整備局の業務説明、社会基盤整備の流れ、伏木富山港の事業概要を説明	伏木富山港湾事務所		継続
24	富山工業高校	1年生	40	10月30日	増加するコンテナ貨物に対応するため、伏木富山港においてコンテナターミナルの延伸工事を実施しており、棧橋式岸壁の現場を見学	伏木富山港湾事務所	(一社)日本埋立浚渫協会 北陸支部	継続
25	富山工業高校	2年生	40	12月14日	インフラの歴史と役割について	伏木富山港湾事務所	富山河川国道事務所	継続
26		4年生	220	5月2日	若年者に対する企業説明会 2019年3月卒の大学等卒業予定者を対象とした企業説明会を開催	富山労働局 (委託事業)	ヤングジョブとやま(受託事業者)	継続
27	県内全高校	3年生	261	5月12日 5月13日	高校生の企業説明会 2019年3月卒業予定の高校生を対象とした企業説明会を県内4会場(富山工業、高岡工業、魚津工業、砺波工業)で開催	富山労働局 (委託事業)	ヤングジョブとやま(受託事業者)	新規
28		3年生	753	5月19日	インターンシップ説明会 2020年3月卒業予定の大学生を対象としたインターンシップ説明会を開催	富山労働局 (委託事業)	ヤングジョブとやま(受託事業者)	新規
29		4年生	88	7月31日	人材不足産業を対象とした企業説明会 2019年3月卒の大学等卒業予定者を対象とした企業説明会を開催	富山労働局 (委託事業)	ヤングジョブとやま(受託事業者)	継続
30		3年生	108	8月16日	若年者向け業界研究会 2020年3月卒の大学生を対象とした業界研究会を開催	富山労働局 (委託事業)	ヤングジョブとやま(受託事業者)	継続
31		4年生	33	8月17日	若年者に対する企業面接会 2019年3月卒の大学等卒業予定者を対象とした企業面接を開催	富山労働局 (委託事業)	ヤングジョブとやま(受託事業者)	継続
32	石動高校	1年生	120	8月24日	高校生バスツアー 将来の職業選択に資するため、高校1年生に対して県内企業の魅力を紹介する場を提供し働くことへの興味・関心を深める取組み	富山労働局 (委託事業)	ヤングジョブとやま(受託事業者)	新規
33	富山西高校	1年生	162	8月29日	高校生バスツアー 将来の職業選択に資するため、高校1年生に対して県内企業の魅力を紹介する場を提供し働くことへの興味・関心を深める取組み	富山労働局 (委託事業)	ヤングジョブとやま(受託事業者)	新規

34		4年生	57	10月30日	未内定者等対象企業説明会 2019年3月卒の大学生等のうち進路変更などにより就職内定を得ていない学生を対象とした企業説明会を開催	富山労働局 (委託事業)	ヤングジョブとやま(受託事業者)	継続
35		4年生	-	12月27日	若年者に対する企業面接会 2019年3月卒の大学生等のうち進路変更などにより就職内定を得ていない学生を対象とした企業面接会を開催	富山労働局 (委託事業)	ヤングジョブとやま(受託事業者)	継続
36		3年生	-	12月28日	学生による学生のための就活祭 就職活動を終えた4年生が、これから就職活動を始める3年生に対して企業研究の進め方、就職活動のノウハウなどを伝える取組み	富山労働局 (委託事業)	ヤングジョブとやま(受託事業者)	新規
37		3年生	-	平成31年1月4日	インターンシップ説明会 2020年3月卒業予定の大学生を対象としたインターンシップ説明会を開催	富山労働局 (委託事業)	ヤングジョブとやま(受託事業者)	新規
38	富山県立大学 富山大学	学生 教員	27	8月8日	「ミル・シル・マナブとやまの土木・建築見学会」 富山県立大学及び富山大学と連携し、将来の土木技術者を目指す学生及び教員を対象とした見学会を開催する。(ICT活用工事、富山空港など)	富山県土木部	北陸地方整備局富山河川国道事務所	継続
39	富山県立大学 富山大学	学生 教員	19	12月7日	「ミル・シル・マナブとやまの土木・建築見学会」 富山県立大学及び富山大学と連携し、将来の土木技術者を目指す学生及び教員を対象とした見学会を開催する。(橋梁上部工・下部工工事、富山新港など)	富山県土木部	北陸地方整備局伏木富山港湾事務所	継続
40	富山県立大学	女子 学生	41	10月29日	建設系学科を専攻する女子大学生を対象として、女性技術者が活躍する建設現場の見学会を開催する。	富山県土木部	(一社)富山県建設業協会 北陸地方整備局富山河川国道事務所	新規
41	桜井高校	3年生	40	6月	土木工事の施工方法、目的の理解について説明し建設業を理解してもらう。	(一社)富山県建設業協会	国土交通省	継続
42	富山工業高校	3年生	40	9月	土木工事の施工方法、目的の理解について説明し建設業を理解してもらう。	(一社)富山県建設業協会	国土交通省	継続
43	高岡工芸高校	2年生	30	9月	土木工事の施工方法、目的の理解について説明し建設業を理解してもらう。	(一社)富山県建設業協会	国土交通省	継続
44	南砺福野高校	1. 3年生	30	10月	土木工事の施工方法、目的の理解について説明し建設業を理解してもらう。	(一社)富山県建設業協会	国土交通省	継続
45	富山工業高校	2年生	40	11月	建築工事の施工方法、目的の理解について説明し建設業を理解してもらう。	(一社)富山県建設業協会	富山県土木部	継続

46	高岡工芸高校	2年生	40	11月	建築工事の施工方法、目的の理解について説明し建設業を理解してもらう。	(一社)富山県建設業協会	富山県土木部	継続
47	富山工業高校	1.2年保護者	20	10~11月	保護者との懇談会 ・建設業協会制作DVD「創る力」の視聴、・建設業の現状について、・とやまの土木について、・富山の建設業に就職して	(一社)富山県建設業協会	富山県土木部	継続
48	高岡工芸高校	1.2年保護者	20	10~11月	保護者との懇談会 ・建設業協会制作DVD「創る力」の視聴、・建設業の現状について、・とやまの土木について、・富山の建設業に就職して	(一社)富山県建設業協会	富山県土木部	継続
49	南砺福野高校	1年+保護者	30	10~11月	講座(建設産業の魅力と入職促進に関する情報を発信) ※対象者:高校1年生とその保護者	(一社)富山県建設業協会	富山県土木部	継続
50	高岡工芸高校	1年+保護者	80	10~11月	講座(建設産業の魅力と入職促進に関する情報を発信) ※対象者:高校1年生とその保護者	(一社)富山県建設業協会	富山県土木部	継続
51	桜井高校	1年+保護者	40	10~11月	講座(建設産業の魅力と入職促進に関する情報を発信) ※対象者:高校1年生とその保護者	(一社)富山県建設業協会	富山県土木部	継続
52	富山工業高校	1年+保護者	80	10~11月	講座(建設産業の魅力と入職促進に関する情報を発信) ※対象者:高校1年生とその保護者	(一社)富山県建設業協会	富山県土木部	継続
53	富山大学		1	6月8日	富山大学都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科に建コン協のパンフレットを持参し、建設コンサルタンツ協会員の仕事・役割等をアピール	(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部		新規
54	富山大学	1年生	10	7月13日	富山大学都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科の学生の「まちなか授業フィールドワーク」に協力。建コン協の仕事・役割を説明し、質疑応答、新湊大橋への現場見学会を実施	(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部		新規
55	富山県立大学		1	7月18日	富山県立大学 高橋教授に建コン協のパンフレットを持参し、建設コンサルタンツ協会員の仕事・役割等をアピール	(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部		新規
56	富山大学		50	8月4日	8月3日・4日開催の富山大学都市デザイン学部オープンキャンパスへの出展(建コン協の仕事紹介など)	(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部		継続
57	金沢大学		3	8月8日	「平成30年度 建設コンサルタンツ協会北陸支部 業務・研究発表会」への学生の参加を促進し、金沢大学から1名が参加し技術発表を行った。	(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部		

58	富山県立大学		4	8月8日	「平成30年度 建設コンサルタンツ協会北陸支部 業務・研究発表会」への学生の参加を促進し、富山県立大学から1名が参加し技術発表を行った。	(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部		
59	富山県立大学		2	未定	協会会員と一緒に熊本地震災害復旧・復興状況を調査し、災害対応の重要性を学んでもらう。	富山県地質調査業協会		
60	富山県立大学		7	2月13日	講演会で熊本地震災害復旧・復興状況修の成果を発表してもらう。	富山県地質調査業協会		
61	インターンシップ申込み大学		未定	随時	会員各社で実務の学習を行う。	富山県地質調査業協会		
62	高岡工芸高校	建築科2年	40	11月6日	県内の建設現場を見学し、体験実習を行う。	富山県建設業協会		
63	高岡工芸高校	土木環境科2年	28	6月1日 ～11月8日	設計コンサルタント業の仕事内容講義と最新測量機器の使用体験。	富山県測量設計業協会		
64	高岡工芸高校	土木環境科2年	28	11月16日 ～1月25日	左官工事の知識と左官作業の技術を学ぶ。	富山県左官事業協同組合		
65	高岡工芸高校	土木環境科2年	28	12月14日 ～2月1日	型枠工事の知識と鉄筋コンクリート型枠の組立技術を学ぶ。	日本型枠工事業協会		

平成30年度の活動一覧表

【建設系以外の高校・中学・小学校(保護者や教員等含む)等への取り組み】

資料2-2

平成30年12月現在

	学校名	学年	人数	時期	内容	機関・団体名	支援・連携状況(機関、業団体等)	H30 新規 or継続
1	太田小学校	5年生	30	6月28日	立山砂防の仕事について(出前講座)	立山砂防事務所	斜面防災対策技術協会富山支部	継続
2	陽南小学校	5・6年生	29	6月29日	立山砂防についての総合学習支援(僕らさぼろ探検隊)	立山砂防事務所	富山県立山土木事務所	継続
3	福沢小学校	3~6年生	36	8月10日	立山砂防についての総合学習支援(僕らさぼろ探検隊)	立山砂防事務所	(公社)富山法人会	継続
4	太田小学校	5年生	31	9月28日	土砂災害について(出前講座)	立山砂防事務所	斜面防災対策技術協会富山支部	継続
5	富山大学	-	-	8月3日	富山大学オープンキャンパスにパネル、災害対策車両の展示	富山河川国道事務所		新規
6	奥田北小学校	2年生	71	10月30日	豊田新屋立体事業について説明	富山河川国道事務所	奥田北校下社会福祉協議会	新規
7	利賀小中学校		85	8月4日	利賀ダム見学イベント2018(利賀大橋ウォーキング・ダムカレー・遊覧船より利賀大橋を見学)	利賀ダム工事事務所	南砺市	新規
8	射水市内小学校	5年	304	6~7月	みなと見学と港の役割について (6/28 太閤山小:79人、6/28 下村小:21人、7/2 中太閤山小:50人、7/13 大門小:154人)	伏木富山港湾事務所	射水市港湾・観光課 富山県富山新港管理局	継続
9	高岡市内小学校	5年	189	7月・9月	みなと見学と港の役割について (7/4 伏木小:56人、7/9 太田小:17人、7/9 古府小:29人、牧野小:87人)	伏木富山港湾事務所	高岡市みなと振興課	継続

10	大島小学校	5年	143	7月19日	港の役割や「伏木富山港」について	伏木富山港湾事務所	射水市港湾・観光課	新規
11	県政バス (一般募集)	(限定なし)	29	8月14日	開港50周年を迎える富山新港周辺の土木施設の見学及び港を題材にした県政番組への参加	富山県土木部	富山テレビ放送株式会社	継続
12	(一般参加)	(限定なし)	195	8月4日	ダ・ヴィンチ祭(主催:富山県立大学)において、楽しみながら建設技術を体験できるコーナーを開く。(ドローンの飛行実演、測量体験、VR(バーチャルリアリティ)建設現場体験、ラジコン重機の遠隔操作、ペーパーブリッジの製作など)	富山県土木部	(一社)富山県建設業協会 (一社)富山県測量設計業協会 (一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	継続
13	一般参加	-		8月	富山県立大学 ダヴィンチ祭への出展(予定) ・ラジコン重機(バックホウ)操作体験、・ドローンによるデモ飛行、・トータルステーションによる測量体験、・建設機械ペーパークラフト、塗り絵作成、・パネル展示	(一社)富山県建設業協会	富山県土木部建設技術企画課	継続
14	富山県立大学		200	8月4日	8月4日開催の富山県立大学ダヴィンチ祭への出展(建コン協の仕事紹介、ペーパークラフト制作など)	(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部		継続

- 実施日時：平成30年2月19日（月） 13:25～14:25
- 場 所：桜井高校 2F 視聴覚室
- 対 象：富山県立桜井高等学校 土木科2年生
- 主 催：黒部河川事務所

【内 容】

○土木の仕事について公務員と民間の立場から紹介 (桜井高校OB)

- ・黒部河川事務所 調査課 調査第一係長 多東 慶太郎
- ・金沢河川国道事務所 工務第一課 技官 鹿本 剛生
- ・桜井建設(株)

園家離岸堤(No.107)ブロック制作その3 工事現場代理人
吉本 遼太郎

○土木技術者として求められるもの

- ・大高建設(株) 執行役員 土木部長 川添 将文

○意見交換会

座談会形式による意見交換会（公務員志望、民間志望）

桜井高校OBの4名の技術者が、公務員、民間の立場からそれぞれの体験談や後輩へのアドバイスをお話しました。

- ・今年度入省したばかりの鹿本技官からは、普段の業務の様子や高校時代と異なり「**自己管理**」や「**コミュニケーション**」の大切さ、後輩へのアドバイスとして**人との繋がりを大切に**してほしい、などお話しました。
- ・吉本氏からは、普段の業務やプライベートの様子、**一番印象に残っている工事**などについてお話をいただきました。
- ・川添氏からは、**会社を率いる立場から土木技術者として求められること**についてお話をいただきました。

今回の講座が、今後の高校生活を送るうえでの新たな目標に繋がるとともに、進路を決める際の参考になれば幸いです。

座談会形式での意見交換会（公務員志望・民間志望）

公務員志望と民間志望の班に分かれて座談会形式による意見交換会では生徒のみなさんから、

- ・高校生のうちにやっておいたほうが良いこと
- ・資格はとったほうがよいか
- ・給与について
- ・仕事をやめたいと思ったことはないか

など、普段は聞けない質問が多くあり、社会人としての心構えを熱心に聞き入っていました



座学「身近な国の行政機関」について（多東係長）



公務員志望の生徒さんと意見交換



民間志望の生徒さんと意見交換

普段の業務や学生との違いについて（鹿本技官）

桜井高校生が部活で砂防を学ぶ



- 内 容：
 - ・工事用トロッコ（黒部峡谷鉄道）体験乗車
 - ・黒部川流域で実施している砂防事業について
 - ・祖母谷流域の砂防施設、監視施設について
 - ・小黒部谷流域で実施中の砂防工事について
 - ・若手技術者との意見交換



小黒部谷での砂防工事現場を見学

- 観光地である樺平の奥深く、人知れず砂防工事を実施している現場を見学しました。
- これまで観光客として樺平に訪れたことのある生徒さんもありましたが、はじめて工事用トラックの乗車や、スケールの大きい砂防工事現場を目の当たりにし、砂防を知らなかったが下流域の安全を守っていることがわかった、など、砂防をはじめ公共事業について学んでいただきました。
- また、現場に携わる先輩若手技術者から、この仕事の魅力や充実感などについてお話いただき意見交換しました。

黒部の砂防工事現場を見学
桜井高土木部の生徒ら



黒部市(百市)の生徒が、黒川事務所が主催している見学会で、同部所属の土木科と普通科の2年生10人が、



壊墟の工事現場を見学する桜井高校土木部の生徒たち=8日、黒部市の黒部峡谷・小黒部谷

黒部三峯の地塊を認めた。黒部川流域は、風化を受けやすい花崗岩類が急峻な地形をなしている上、降水量が多いため、流域全体の山地傾斜が約7千方力にも及ぶと、つづ。黒部谷の力はか組母谷、不得谷の力とは代表的な構造物で「黒部三大崩れ」と呼ばれる。

黒部谷には、計4基の堰堤を過計画がある。現在、基部分の工事が進む。母堰堤の工事現場を見学した木下大工の海軍力さんは、「堰堤は見えない基礎部分が増え、より大きい。30年後に入の役に立つ仕事なものと感じた」と話していた。(宮澤守)

平成30年8月15日
朝日新聞 日刊



「地図に残る仕事」「災害から地域を守る仕事」「現場でものができあがる充実感」など先輩OBからお話いただきました。

- 砂防のおかげで安全に生活できて幸せだと思ふ。将来多くのたくさんの命を守る仕事につきたい。
- ここ（樺平）に家族ときたことがあったが、砂防の施設は知らなかった。今日、砂防について下流域の安全を守っているということがわかった。
- これまで完成したものしか見たことなかった。はじめて動いている現場をみて、時間がかかりたくさんの人とかかわりあいながら進めているとわかった。
- 様々な工程の積み重ねで人々の役に立つ仕事だとわかった。
- 先輩から話を聞いて建設業もいいなと思った。

- 実施日時：平成30年11月22日（木） 13:45～15:45
- 場 所：黒部市宇奈月町音澤地先
（黒部川 音沢橋付近右岸）
- 対 象：富山県立桜井高等学校 土木科2年生 40名
 - 主 催：黒部河川事務所
 - 共 催：富山県建設業協会 入善支部

- 内 容：
 - ・黒部川の概要について
 - ・急流河川特有の被災メカニズム、復旧工法（練石張護岸）について学ぶ
 - ・マシンガイダンスを搭載した建設機械を学ぶ
 - ・桜井高校OBの若手技術者による仕事の魅力や経験談



仮締め切り中の現場での説明

- あいにくの雨の中でしたが、平成29年7月出水により被災を受けた時の黒部川特有の被災メカニズムや当時の応急対応の状況、練石張護岸について説明を行うと、生徒達は熱心に耳を傾けていました。
- また近年の建設界の話題として、**i-Constructionの概要を説明し、マシンガイダンス機能が搭載されたバックホウ**を見学しました。
- あわせて、この災害復旧工事の受注者の新入社員であり桜井高校OBの技術者から、**建設界の魅力などについてお話いただきました。**



マシンガイダンスのしくみの説明



先輩OBからのお話に耳を傾ける



生徒代表からの御礼の言葉

参加した学生より

- 知らないことがたくさんあって驚いた。
このような仕事に携わることも今後の就職活動の選択肢の一つとして考えていきたい。

- 甚大な被害をもたらした平成20年下新川海岸高波災害から10年。時間の流れとともに薄れがちな災害の記憶を思い返し、その経験・教訓を次世代へ語り次ぐための「語り部の会」を開催しました。
- 約180名の参加者のもと、「災害を振り返る」上映にはじまり、高校生や地元建設会社による当時の記憶の振り返り、当時対応された語り部4名を含めたパネルディスカッションなどを行いました。

開催概要

- 日時 | 平成30年11月11日(日) 13:00~15:30
- 会場 | 入善町消防防災センター (入善町上野571)
- 主催 | 下新川海岸水防連絡会
- 参加者数 | 約180名
- 開催内容 |
 - ・上映 「災害を振り返る」
 - ・H20.2.24高波 被災状況及び対応状況
山田 義仁 黒部河川事務所 工務課長
 - ・体験発表
小学生での記憶
青木 颯良さん 富山県立桜井高等学校 土木科3年
応急対応の記憶
大川 浩幸さん 共和土木(株) 土木部 課長
寄り回り波を振り返って
司会朗読 (朝日町在住の方の投稿文)
 - ・パネルディスカッション
「あの時の経験とこれからの備え」
<コーディネーター>
福濱 方哉 富山河川国道事務所長
<語り部>
島倉 与志貴さん 入善町在住 新酒 善彦さん 黒部市在住
大井 光男さん 朝日町在住 神子沢 喜彦さん 入善町参事
<コメンテーター>
川口 歳則 富山県立山土木事務所 所長代理
古本 一司 黒部河川事務所長
 - ・パネル展示 (高波災害を振り返る)



体験発表
小学生での記憶を
語る青木さん



体験発表
応急対応の記憶を
語る大川さん



体験発表に聞き入る参加者



語り部4名を含めた7名によるパネル
ディスカッション
当時の波の様子や対応状況などを語る語
り部のみなさん



寄り回り波のしくみを説明する福
濱コーディネーター

参加した方からの感想 (アンケート結果より抜粋)

人生58年間に、2度の寄り回り波を経験しており、これが風化されないよう後世に伝えていくべきである。

当時、被災者でした。各々の立場で復興に努力いただいたことにあらためて感謝いたします。私は被災した日を防災グッズ等点検の日とし、災害を考える日としていますが、引き続き気をひきしめていきたいと思いました。



入善町梅津副町長に
よる開会挨拶



「高波災害を振り返る」パネル
展示に見入る参加者

Vol. 10 H30.6.22

まちなか授業inグランドプラザに参加！



富山大学都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科では、地域と共に学ぶことの一環として、当学科の1年生を対象とした必修科目「都市と交通を支える建設技術の基礎知識」を、富山の中心市街地グランドプラザにおいてオープン・クラス(まちなか授業)として実施しています。講義には、都市・交通デザイン学科の教員以外に、社会の第一線で活躍するゲストも含めて登壇しています。

今回はその第9回目として、砂防に関する講義を富山県土木部砂防課の森田課長、立山砂防事務所の大坂事務所長が行いました。

日時：平成30年6月22日(金) 13:15～14:45
場所：総曲輪グランドプラザ
内容：第9回『立山砂防と富山の土砂災害対策の最前線』
参加者：富山大学都市デザイン学部
都市・交通デザイン学科1年生45名、一般聴講者

◆プログラム◆

- 講義1「富山の砂防」
富山県土木部砂防課 森田 耕司 課長
- 講義2「立山カルデラの砂防」
立山砂防事務所 大坂 剛 事務所長



講義1：森田 耕司 課長

○講義1

- ・土砂災害とは
- ・土砂災害の実態
- ・激化する理由
- ・富山県の土砂災害の状況
- ・ハード対策による土砂災害対策の推進
- ・ソフト対策による土砂災害対策の推進
- ・立山砂防の世界遺産登録に向けた取組



講義2：大坂 剛 事務所長

○講義2

- ・常願寺川流域の特徴
- ・安政5年(1858)の大災害
- ・デレーケの河川改修(明治24～26年)
- ・直轄砂防事業(大正15年着手)
- ・白岩砂防堰堤(昭和14年完成)
- ・本宮砂防堰堤、泥谷砂防堰堤群 等
- ・工事の安全施工の推進、無人化施工
- ・ICT技術活用(UAV測量、情報化施工)



会場の様子



授業の様子



学生からの質問



一般の方からのコメント



久保田善明教授

質疑応答

Q：情報通信技術の発展に伴い実施していることは？

A：ドローンで測量を実施、人工衛星の情報利用、鋼製堰堤 等

Q：工事用軌道(トロック)を使い続ける理由は？

A：トロックと車輛それぞれ利点があり、現場条件や輸送内容で使い分けている。また、トロックは一般の方の見学にも使っている。

Vol. 12 H30.6.28

「太田小学校」で出前講座！

TATEYAMA SABO

暴れ川として有名な常願寺川の特徴や土砂災害の種類、砂防堰堤の役割等々、立山砂防の事業に興味を持ってもらうことを目的として、富山市立太田小学校にて出前講座を実施しました。

小学生ならではの鋭い感性で質問があり、興味津々な児童がとても頼もしく見えました。

開催日：平成30年6月28日(木)

場 所：富山市立太田小学校

参加者：5年生(29名)・教員(1名)

◆講座内容◆

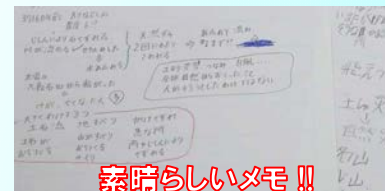
1. 立山と常願寺川
2. 立山カルデラ
3. 土砂災害
4. 砂防の役割
5. 立山砂防の仕事

出前講座の様子



は〜い！

質問のあるひと〜??



【児童からの質問や感想】

- ・ 立山カルデラは自然につくられたの？
- ・ 「砂防」という言葉は初めて知りました！
- ・ 砂防堰堤が町を守ってくれていることを学びました！
- ・ 土砂災害はいつどこで起こるか分からないので気を付けようと思います！・・・etc

今回の出前講座は、昨年度に引き続き「斜面防災対策技術協会富山支部」が主催となり、当事務所が支援しました(昨年度は、立山町立立山中央小学校)。また、来る9月4日(火)には当事務所管内の現場を見学、9月28日(金)には土砂災害の模型等による講座も支援する予定です。

Vol. 14 H30.6.29 『僕ら「さぼう」探検隊！』を開催 土砂災害とは？ ～上市町立陽南小学校～



立山砂防事務所では、毎年6月から10月に県内の小学生を対象とし、常願寺川の災害・歴史や立山カルデラの砂防事業について、より理解を深めてもらう事を目的に、『僕ら「さぼう」探検隊！』と称し、「総合的な学習」を支援しています。

開催日 平成30年6月29日(金) 13:45～14:50
場所 立山砂防事務所構内
参加者 上市町立陽南小学校
5、6年生:24名 引率者:5名 【計29名】
※今回は、富山県 立山土木事務所が行う
「こども砂防教室」の一環として開催されました。



土砂災害には種類があります

【児童からの質問】

Q 砂防堰堤1基で、土石流は防げるの？

A 地域によって、どのくらいの土砂があるかで変わってきます。
1基で防げる場合もあれば、10基、20基と必要になることも。
立山砂防事務所では100基以上の砂防堰堤をつくり、みんなの住んでいる地域を土砂災害から守っています。



土砂災害ミニ模型



土砂災害ミニ模型で勉強することたち



地すべり



クイズに挑戦！



クイズに挑戦！



トロッコの映像



ジオラマで常願寺川を勉強

土砂災害の恐ろしさが良くわかりました！
ありがとうございました！



土砂災害とは？

- 土石流
- 地すべり
- がけ崩れ

覚えているかな？

Vol. 17 H30.7.23

世界遺産登録人材育成プロジェクト ユースプログラム(高校生コース)に参加！

TATEYAMA SABO



世界遺産の現状や課題、世界文化遺産登録を目指す立山カルデラの歴史的砂防施設群などについて若い世代への普及啓発を図ることにより、未来の世界遺産を守る基盤づくりと「立山・黒部」の世界遺産登録の推進に寄与することを目的として、「世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム(高校生コース)」が7月23日～25日の3日間にかけて行われております。

今回はその第1日目の3講座のうち、立山砂防事業に関する講義を、立山砂防事務所の大坂事務所長が行いました。

日時：平成30年7月23日(月) 13:00～14:20
場所：富山県民会館701号室
名称：平成30年度世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム(高校生コース)
主催：富山県世界遺産登録推進事業実行委員会(富山県、関係機関、民間団体、有識者等により構成)
参加者：県内高校生 37名

◆プログラム◆

- 講座1「立山・黒部の世界遺産登録の取組み」
富山県総合政策局 企画調整室
- 講座2「立山の自然と災害」
立山カルデラ砂防博物館 本田 孝夫 館長
- 講座3「立山砂防事業・現在の暮らしと砂防」
立山砂防事務所 大坂 剛 事務所長

○講座3

・はじめに

先日、西日本で大きな災害が発生した。これと同じような災害が約150年前に富山県内でも発生した。その災害のために、富山平野が高さ2mほど埋まってしまうほどの約2億m³の土砂が、現在も常願寺川上流に存在している。この土砂との戦いが現在に至るまで繰り返されてきた。



講座3：大坂 剛 事務所長

- ・立山カルデラの周辺
- ・常願寺川流域の特徴
- ・安政5年の大災害
- ・砂防事業の歴史
デレーケの河川改修、富山県による砂防事業、直轄砂防事業、白岩砂防堰堤、本宮砂防堰堤、泥谷砂防堰堤群、多枝原砂防堰堤群、立山砂防工事専用軌道
- ・最新工法
無人化施工、シャッター付き砂防堰堤、ICT技術の活用(UAV、MG工法)
- ・「TEC-FORCE」派遣 など



会場の様子



講義の様子

「世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム」とは..

専門家を招いての世界遺産講座や、世界遺産“候補”である立山カルデラの歴史的砂防施設群などの見学を通じて、若い世代に富山県の世界遺産“候補”について知っていただくプログラムです。

平成25年度から大学生等を対象に実施しており、昨年から高校生向けコースが新設されました。

Vol. 19 H30.7.31-8.2

「第22回SABO体験楽校」を開催！

TATEYAMA SABO

富山平野と砂防の関わりを楽しみながら理解を深める目的として、富山県内の高校生が参加する「SABO体験楽校」を毎年開催しています。

今年の「SABO体験楽校」では、9名の高校生が工事現場での実体験や砂防事業に携わる人々との交流を通じて、学校の授業では得られない貴重な体験をしました。

開催日：平成30年7月31日(火)～8月2日(木)【2泊3日】

場 所：立山砂防事務所管内

参加校：富山県立桜井高等学校 4名
富山県立富山工業高等学校 5名 計9名

主 催：立山砂防事務所
一般財団法人 富山・水・文化の財団



開 校 式



開校式の様子

開 校 式



代表者挨拶



主催者挨拶



自己紹介



修了証授与



記念撮影



立山カルデラ砂防博物館見学



枕木交換体験(協力:富山地鉄建設㈱)



ICT施工ドローン操作体験(協力:辻建設㈱)



ロープ作業体験(協力:新栄建設㈱)



生コンプラント見学
(協力:水谷生コンクリート事業協同組合)



土砂災害模型実験



天涯の湯清掃(協力:松嶋建設㈱)



コンクリート打設体験(協力:丸新志鷹建設㈱)



水谷出張所

参加された生徒からの感想

- 普段体験できないことばかりで良い経験になりました。
- 学校では学ぶ事のできない貴重な体験をさせて頂きました。
- 3日間の貴重な体験を生かせるように努力していきます。
- 楽しく学ぶ事ができました。

Vol. 21 H30.8.10 『僕ら「さぼう」探検隊！』を開催 砂防堰堤とは？ ～富山市立福沢小学校～



立山砂防事務所では、毎年6月から10月に県内の小学生を対象とし、常願寺川の災害・歴史や立山カルデラの砂防事業について、より理解を深めてもらう事を目的に、『僕ら「さぼう」探検隊！』と称し、「総合的な学習」を支援しています。

開催日 平成30年8月10日(金) 10:00～11:40
場 所 立山砂防事務所構内
参加者 富山市立福沢小学校
3～6年生:15名 引率教諭:3名 父兄:8名
富山法人会青年部会:10名 【計36名】
※今回は、富山県法人会青年部が行う
「租税教育バス」の一環として開催されました。

砂防堰堤見学



土石流体感3Dシアター



トロッキに乗車

常願寺川の特徴や砂防堰堤の
役割について勉強しました！

土石流の特徴や
非常時の備えを
勉強しました！

土石流模型実験



常願寺川の特徴と
砂防堰堤の働きがよくわかりました。
ありがとうございました！

児童からお礼の言葉を
いただきました！

トロックと記念撮影！



砂防堰堤はすごいなあ～！



Vol. 22 H30.8.20-23 全国の大学生を対象に 『キャンプ砂防2018 in 立山』を開催！



砂防を専攻する大学生を対象に、工事現場体験や中山間地域での生活体験を通して、砂防工事が行われている流域の現状や地域防災への取り組みなどを学び、学習意欲の喚起と職業意識の育成を図ることを目的とした『キャンプ砂防2018 in 立山』が開催されました。

開催日：平成30年8月20日（月）～23日（木）4日間
場所：常願寺川流域（富山県中新川郡立山町及び富山市）
参加者：大学生 5名
（信州大学、群馬大学、広島大学、岩手大学、京都大学）
主催：立山砂防事務所
協力：富山市、立山町、立山カルデラ砂防博物館

開講式



地域行政視察



工事体験及び現場視察

枕木交換体験



生コン打設体験



ドローンによる写真撮影体験



現地視察



ICT施工体験



ロープ作業体験



生コンプラント視察



報告会及び閉講式



報告会での意見・感想（抜粋）

- 実際にしてみると、立山砂防の規模の大きさや工事の困難さを目の当たりにし、スケールの大きさにとっても驚いた。
- 大学で学んでいる知識について、実際にどのように活かせるかを今後の研究の中で考える良い機会となった。
- 砂防の第一の目的は土砂災害を防ぎ被害を最小限に抑えることにあるが、観光の面でも非常に魅力的であり、多くの人に知ってもらいたいと感じた。
- 将来は多くの人々に砂防に関して知ってもらい、命を守る事業が行われていることを伝える仕事がしたいと感じた。
- 立山砂防が世界遺産になれば、SABOの知識が世界にもっと広がり、立山砂防で培われた知識が世界中の人知ってもらえる良い機会になると感じた。

キャンプ生の皆さま、お疲れさまでした。

Vol. 23 H30.8.23

世界遺産登録人材育成プロジェクト ユースプログラム(大学生等コース)に参加！



世界遺産の現状や課題、世界文化遺産登録を目指す立山カルデラの歴史的砂防施設群などについて、若い世代への普及啓発を図ることにより、未来の世界遺産を守る基盤づくりと「立山・黒部」の世界遺産登録の推進に寄与することを目的として「世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム(大学生等コース)」が8月22日～25日の4日間にかけて行われております。

今回はその第2日目の3講座のうち、立山の砂防事業に関する講義を、立山砂防事務所の大坂事務所長が行いました。

日 時 : 平成30年8月23日(木) 13:00～14:30
場 所 : 富山県民会館704号室
名 称 : 平成30年度世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム
(大学生等コース)
主 催 : 富山県世界遺産登録推進事業実行委員会
(富山県、関係機関、民間団体、有識者等により構成)
参 加 者 : 大学生等9名、その他庁内聴講者13名

◆プログラム◆

○講座2「立山の自然と災害」

立山カルデラ砂防博物館 本田 孝夫 館長

○講座3「立山砂防事業・現在の暮らしと砂防」

立山砂防事務所 大坂 剛 事務所長

○講座4「立山・黒部の世界遺産登録の取組み」

富山県総合政策局 企画調整室

○講座3

・はじめに

富山県内には3000m級の山々がそびえ、美しい景観と引き換えに土砂災害のポテンシャルが高い地域と言える。160年前に県内で発生した土砂災害による土砂が現在も常願寺川上流に存在しており、この土砂との戦いが現在まで繰り返されてきた。



講座3：大坂 剛 事務所長

- ・立山カルデラの周辺
- ・常願寺川流域の特徴
- ・安政5年の大災害
- ・砂防事業の歴史
デレーケの河川改修、富山県による砂防事業、直轄砂防事業、白岩砂防堰堤、本宮砂防堰堤、泥谷砂防堰堤群、多枝原砂防堰堤群、立山砂防工事専用軌道
- ・最新工法
無人化施工、シャッター付き砂防堰堤
ICT技術の活用(UAV、MG工法)
- ・「TEC-FORCE」派遣 など



会場の様子



講義の様子

・Q&A

Q: 立山砂防のような大規模な砂防事業は、全国的には他に何があるのか？

A: 南は九州から北は北海道まで様々な事業が行われており、それぞれ特徴があるので中々ひとまとめにはできない。

上流部に土砂が貯まっており下流の市街地を守る【水系砂防】の代表格は立山砂防。火山噴出物などから下流を守る【火山砂防】の代表格は桜島や大沢崩れなど富士山の砂防事業など。

「世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム」とは..

専門家を招いての世界遺産講座や、世界遺産“候補”である立山カルデラの歴史的砂防施設群などの見学を通じて、若い世代に富山県の世界遺産“候補”について知っていただくプログラムで、平成25年度から実施しています。

Vol. 28 H30.9.28

「太田小学校」で出前講座！“土砂災害の実験を体験”



今年の6月に続いて、5年生に向けた出前講座を実施しました。前は、常願寺川の特徴や土砂災害のメカニズム等々について勉強しましたが、今回は、より理解を深めるため土砂災害に関する実験を行いました。児童達は、実際に土砂災害のミニ模型や実験を体験し、いろいろな感想を聞かせてくれました。

開催日 : 平成30年9月28日(金)
場所 : 富山市立太田小学校
参加者 : 5年生(30名)
教員(1名)



屋外での実験



【児童の感想】

- 土石流の実験や土砂災害のミニ模型を実際に体験して、とても勉強になりました。
- 土砂災害には土石流、地すべり、がけ崩れの3つあることを学びました。
- 土石流を防ぐために砂防堰堤が必要であることを勉強しました。
- 等々沢山の感想を頂きました。

今回の出前講座は、「斜面防災対策技術協会富山支部」が主催となり、当事務所が支援した出前講座です。

第一回目の出前講座は、6月28日に開催しました。
VOL. 12で紹介していますので是非ご覧になって下さい。

富山大学都市デザイン学科の学生を対象に現場見学会を実施

平成30年 7月20日(金)、富山大学都市デザイン学科の生徒を対象に常願寺川の河川改修の歴史をテーマに学習会と現場見学会を実施しました。

学習会では参加された学生の方から常願寺川の改修の歴史についての質問の他普段の業務についての質問があり現場見学会を通して建設業界に関心を持ってもらうことができました。

事前学習会



常願寺川の災害と改修の歴史をテーマに事前学習会を実施し以下のような発言がありました。

- ・過去の災害ではどのような被害があったのか
- ・常願寺川での河川改修における課題は何か
- ・巨大水制群にいろいろな形があるのはなぜか
- ・今後の改修ではどのような治水工事を検討しているか

現場見学会



上滝床固め



常願寺川河口部

現場見学会での感想

- ・常願寺川の災害や河川改修について学ぶことができた
- ・急流河川特有の治水工法を見ることができてよかった



高岡工芸高校3年生が工事現場を見学

開催日 : 平成30年5月21日(月)

参加者 : 高岡工芸高校3年生 27名

場 所 : 国道359号砺波東バイパス(いかるぎの大橋上部その1工事外2工事)

概 要 : マシンガイダンス付バックホウ見学、鉄筋組立体験、若手技術者(同校OB)の体験談



マシンガイダンス付バックホウの見学



写真測量の説明



鉄筋組立の体験



コンクリート構造物の非破壊試験説明



若手技術者の体験談



集合写真



金沢工業大学、反転事業(講座、現場視察)

開催日 : 平成30年6月22日(金)
参加者 : 金沢工業大学 環境土木工学科 1年生98名、4年生8名
場 所 : 国道359号砺波東バイパス(いかるぎの大橋上部その1工事、その2工事)
概 要 : 砺波東バイパス事業概要、反転事業の課題(中空床板橋の利点、施工上の留意点等)



事務所概要、工事概要に関する説明(金沢工業大学)



工事の説明を聞く参加者(いかるぎの大橋その1工事)



中空床板模型を見学する参加者(いかるぎの大橋その1工事)



中空床板を視察する参加者(いかるぎの大橋その2工事)



富山大学オープンキャンパスにパネル等出展

開催日：平成30年8月3日(金)、4日(土)

場 所：富山大学都市デザイン学部(五福キャンパス)

内 容：災害対策車(ポンプ車、照明車)、道路パトロールカー、パネルの展示

富山大学「都市デザイン学部」は、2018年4月に開設された新しい学部です。
高校3年生と保護者を対象としたオープンキャンパスが開催され、大学からの出展依頼を受け、担い手育成の観点から、将来の就職先の一つとしてイメージしていただくため、大学出展しました。



都市デザイン学部



災害対策車の説明状況



富山河国パネルの設置状況



災害対策車の展示状況



パネルの説明状況



パネル展示ブース内状況



高岡工芸高校2年生が工事現場を見学

開催日：平成30年9月21日(金) ※富山県建設業協会主催

参加者：高岡工芸高校2年生 28名

場所：国道359号砺波東バイパス(いかるぎの大橋上部その1工事外1工事)

概要：マシンガイダンス付バックホウ見学、非破壊試験、若手技術者(同校OB)の体験談



事業、工事の概要説明



マシンガイダンス付きバックホウ見学



UAV(無人航空機)の操作体験



写真測量の説明



コンクリート構造物の非破壊試験



若手技術者の体験談



富山工業高校2年生が工事現場を見学

開催日 : 平成30年9月28日(金) ※富山県建設業協会主催

参加者 : 富山工業高校2年生 40名

場 所 : 国道41号猪谷楡原道路(猪谷橋上部工事、小糸道路その4工事)

概 要 : マシンガイダンス付バックホウ見学、UAV操作体験、若手技術者(同校OB)の体験談



事業、工事の概要説明



マシンガイダンス付きバックホウ見学



UAV(無人航空機)の操作体験



橋梁上部工事の現場見学



ボルト締め体験



若手技術者の体験談



南砺福野高校1、3年生が工事現場を見学

開催日 : 平成30年10月23日(火) ※富山県建設業協会主催
参加者 : 南砺福野高校1年生30名、3年生2名
場 所 : 国道359号砺波東バイパス(いかるぎの大橋上部その1工事外3工事)
概 要 : MCブルドーザ・上部の見学、若手技術者(同校OB)の体験談



事業、工事の概要説明



MCブルドーザの見学



工事について質問する高校生



上部工(PC中空床版)の見学



若手技術者の体験談



集合写真

富山県立大学3年生が工事現場を見学

開催日：平成30年11月12日(月)

参加者：富山県立大学 工学部 環境・社会基礎工学科 3年生 24名

場所：国道8号付加車線設置工事(小矢部地区交通安全対策事業)

概要：施工状況見学、若手技術者及び女性技術者による建設業の魅力や体験談の紹介



事業の概要説明



工事の概要説明



鋼矢板の施工状況見学



若手、女性技術者の体験談を聞く学生



体験談を紹介する若手、女性技術者



工事について質問する学生

平成30年8月4日(土)に利賀ダム連絡協議会、利賀ダム建設口山地区対策協議会、利賀地域児童生徒育成会主催の「利賀ダム見学イベント2018～五感で味わう、利賀ダムの魅力～」に当事務所他、南砺市、富山県砺波土木センター、利賀ダム工事事務所安全対策協議会と共にお手伝いいたしました。

今回は、『利賀大橋』(利賀ダム工事用道路 兼 一般国道471号利賀バイパス)開通式典(10月14日開催)のプレイベントとして、ダム建設事業への関心を持ってもらうことを目的に開催し、児童生徒19名を含む85名の地元の方々にご参加いただきました。

イベントの最後には、庄川遊覧船から利賀大橋を見学しました。船内では、利賀ダム事業や利賀大橋の説明に熱心に耳を傾けて頂き、最後は大きな拍手をいただきました。



イベントのチラシ

【実施状況】



利賀大橋にて記念撮影



子供達と一緒にダムカレー試食！



遊覧船へ乗込み
利賀大橋を見学！

平成30年10月30日(火)、「産((一社)日本埋立浚渫協会、富山県港湾建設協会)」「学(富山工業高等学校)」「官」の3者が連携し、富山工業高校土木工学科1年生40名を対象に、伏木富山港(新湊地区)の港湾工事の現場見学会を実施しました。

まず貨物量の増大・コンテナ船の大型化に対応するための既存岸壁の延伸工事についての事業概要の説明を伏木富山港湾事務所から、実際の工事の概要説明を受注者から説明した後、現場見学場所へ移動し、栈橋上部工の鉄筋組み立て状況を見学。

見学後、隣接工事を施工している受注者の女性技術者(入社2年目)から「建設工事を選んだ理由」と題して、土木を選択した理由、現場の良い点・困った点など本音も含み分かりやすく高校生に話していただきました。

質疑応答では、「1日の作業ノルマが細かくあるか?」「これまで一番の失敗は?」「給料はどれくらいか?」などの幅広い内容の質問がありました。

現場見学会の状況



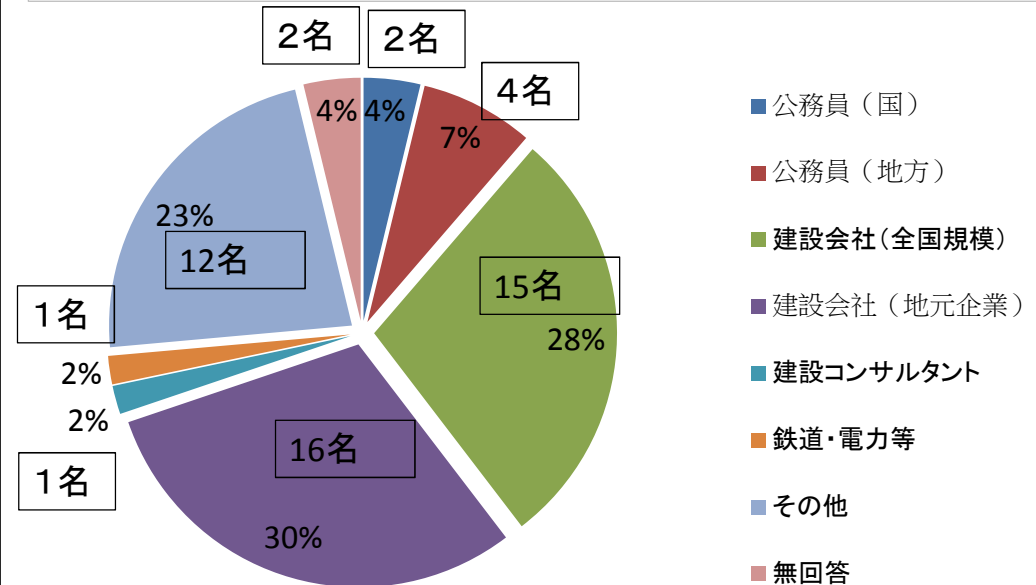
平成30年12月14日(金)、富山河川国道事務所、伏木富山港湾事務所で、富山工業高校土木工学科2年生39名(1名欠席)を対象に座学「国土交通省の仕事」として、北陸地方整備局の河川・道路・砂防・港湾の事業について講義を実施しました。

約90分の講義を行い、1時間目は富山河川国道事務所 副所長より「社会資本整備のあゆみ」として、砂防・河川・道路整備の歩みとICT 技術を活用したネットワークの構築、広域危機管理体制やTEC-FORCE 等の災害への備えを講義し、2時間目は伏木富山港湾事務所 前任建設管理官より「港湾整備事業について」として港の役割や北陸地方整備局の港湾の整備事業、みなとまちづくり等を講義しました。

講義の様子



(アンケート結果)
将来の進路はどのように考えていますか？(複数回答)



普段の暮らしにも密接な関わりを持つ伏木富山港について学び、興味や関心、愛着を持ってもらえる機会を提供することを目的として、射水市内小学校及び高岡市内小学校の5年生を対象に「みなとの見学会」を実施しました。

合計参加者数は、射水市内小学校4校284名、引率者20名、高岡市内小学校4校169名、引率者20名となった。

また、今年は当事務所職員が小学校に出向いて「出前授業」も実施しました。

【みなと見学会】

射水市内小学校

新湊大橋（あいの風プロムナード）を徒歩で見学→富山県営渡船（越の渦フェリー）乗船見学→国際物流ターミナル見学

6/27 射水市立 太閤山小学校	5年生	74名	引率者他	5名
6/28 射水市立 下村小学校	5年生	18名	引率者他	3名
7/2 射水市立 中太閤山小学校	5年生	46名	引率者他	4名
7/13 射水市立 大門小学校	5年生	146名	引率者他	8名
合計		284名		20名

高岡市内小学校

港湾業務艇「なごかぜ」船上から伏木富山港（伏木地区）を見学→新湊大橋（あいの風プロムナード）を徒歩で見学

7/4 高岡市立 伏木小学校	5年生	50名	引率者他	6名
7/9 高岡市立 太田小学校	5年生	13名	引率者他	4名
7/9 高岡市立 古府小学校	5年生	25名	引率者他	4名
9/18 高岡市立 牧野小学校	5年生	81名	引率者他	6名
合計		169名		20名



みなとを見学（港湾業務艇なごかぜ船上から）



国際物流ターミナル見学



新湊大橋（あいの風プロムナード）見学



新湊大橋前で記念撮影

【出前授業】

射水市内小学校

写真やクイズをおりまぜながら「港」の役割や「伏木富山港」について学習してもらいました。

7/19 射水市立 大島小学校	5年生	138名	引率者他	5名
-----------------	-----	------	------	----



出前授業の様子

建設業における担い手確保・育成に向けた取り組み

(社会資本の役割や建設産業の魅力のPR)

県政バス「富山どぼく発見！ツアー」(H20～)

- ・ 平成30年8月14日(火)実施 29名参加(子供15名、保護者14名)
- ・ 小学生以上18歳以下の子供とその保護者等を対象
- ・ 県内の土木施設や施工現場などを見学

(主な内容)

- ・ 富山新港の見学(国際物流ターミナル、新湊大橋 等)
- ・ 富山テレビ放送「元気とやま みんなのクイズ」に回答者として参加

平成30年度の様子



富山新港の見学



元気とやま みんなのクイズ

富山県立大学「ダ・ヴィンチ祭」へ建設業ブース出展

- ・ (H28) 平成30年8月4日(土)実施 195名受付(高校生以下116名、一般 79名)
- ・ 建設業協会、建設コンサルタント協会、測量設計業協会と連携して実施
- ・ 建設業のイメージアップ、将来の担い手確保のため、楽しみながら建設技術を体験

(主な内容)

- ・ ドローンの飛行実演 ・ 測量体験 ・ VR(バーチャルリアリティ)建設現場体験
- ・ ラジコン重機の遠隔操作 ・ ペーパーブリッジの製作

平成30年度の様子



VR体験



ペーパーブリッジ

「ミル・シル・マナブとやまの土木・建築見学会」(H29

- ・ 第1回 30年8月8日(水)実施 27名参加(学生18名、教員9名)
- ・ 第2回 30年12月7日(金)実施 19名参加(学生12名、教員7名)
- ・ 富山県立大学及び富山大学と連携し、将来の土木技術者をめざす両大学の学生及び教員を対象とした見学会を開催

(主な内容)

- ・ 第1回 国道41号猪谷楡原道路事業(ICT活用工事)、今町地区急傾斜緊急改築法面工工事、富山きときと空港の見学
- ・ 第2回 伏木富山港(新港地区)、庄川水系地久子川護岸工工事、県道高岡環状線道路改良工事(橋梁上部工・下部工)

平成30年度の様子



ICT建機、ドローン体験



今町地区急傾斜

建設業における担い手確保・育成に向けた取り組み

(将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成)

将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成

○女性が活躍できる労働条件改善補助事業

建設企業等が行う、最新型の作業服等(空調付き作業服・ヘルメット等)の購入、労働条件改善のための社内規定の整備(育児・介護休業制度の導入等)など、女性も働きやすい職場になるような労働環境改善の取り組みへの支援を実施(H27～)



空調付き作業服

○建設業若者活躍支援事業

事業者団体が行う、若年層の入職・定着・育成の取り組みへの支援を実施(H30)

- ・資格取得支援講座 <対象>在職者

土木・建築施工管理技術検定試験の短期集中対策講座の開催

- ・就職直前技能向上研修 <対象>高校生

玉掛け及び小型移動式クレーン運転技能講習の開催

- ・新入社員向け研修 <対象>新入社員

技術力向上や離職防止を図るための研修の開催

【H30実績】(募集修了)
・トイレの改修 3社
・最新型作業服の導入 2社

○「もっと女性が活躍できる建設業」支援事業

内閣府の「地域女性活躍推進交付金」を活用し、建設業における女性活躍推進を図るため、女性技術者や経営者等を対象とした研修会を開催(H30)



建設業以外の新分野への進出に取り組む建設企業に対する支援

○建設業新分野進出等支援補助事業

経営基盤の強化に向け、プラン策定、事業立ち上げ、事業定着に要する費用を助成し、建設企業の新分野進出を支援(H18～)

【H30実績】
1社 (11月末現在)



木製品の企画・製作・販売



完全人工光型植物工場

女子学生を対象とした現場見学会

【取扱注意】

- 期 日 平成30年10月29日(月)
- 参加者 富山県立大学 環境・社会基盤工学科 女子41名、畠教授、吳准教授、手計准教授
(1年19名、2年10名、3年4名、4年7名、院1名)
- 内 容 1. 現場見学
- ①庄川・柳瀬護岸災害復旧その2工事
説 明：富山河川国道事務所大門出張所、(株)岡部 高見るみ子
その他：情報化施工説明・ICT建機見学、ドローン操作体験
 - ②小矢部川・西中野堤防強化工事
説 明：富山河川国道事務所小矢部出張所、射水建設興業(株) 金塚歩美
その他：現場事務所見学(快適トイレ等)
2. 女性技術者との意見交換会



庄川・柳瀬護岸災害復旧 (ICT建機)



庄川・柳瀬護岸災害復旧 (ドローン)



小矢部川・西中野堤防強化工事 (技術者の仕事)



小矢部川・西中野堤防強化工事 (現場事務所)



意見交換 (女性技術者の働き方等)



意見交換 (質疑応答)

女子大学生の現場見学会 意見交換での特徴的な意見

●説明

- ・技術者の役割、仕事内容
- ・女性技術者の一日（出産前と出産後の比較）。
- ・産前産後休暇など福利厚生状況

●質疑応答

学 生：現在3年生で、進路に悩んでいる。なぜ、コンサルや公務員でなく施工管理の仕事を選んだのか。

技術者：元々、現場での作業に興味があったが、体力面では男性にかなわない。施工管理の仕事なら、体力がない女性でもできるのではないかと思い、施工管理の仕事に就こうと考えた。

技術者：女性の先輩がいて、施工管理の仕事ができるというのが理由。入社当時、女性はすぐやめるのではないかと言われていたが、先輩の女性技術者の存在が大きく、仕事を続けてこられた。

学 生：男女で賃金の差はあるか。

技術者：施工管理において男性と女性の給与差はない。女性でも男性と同様に評価され、資格や実績がボーナスに反映される。

学 生：残業はあるか。

技術者：あるが、現場の作業自体は17時までで、それ以降は書類作成などの事務仕事となるが、正直コンサルより少ないと思う。コンサルは帰りが22時とか23時と聞く。また、公務員もそれなりに残業している。施工管理だからと言って特別残業が多いわけではない。

学 生：旅行が趣味だが、社会人になったら長期旅行には行けないのか。

技術者：現場の工期は、半年～1年。それが終わったら、まとめて休暇を取得したりして海外旅行などに行っている。年末年始などと合わせれば2～3週間の休みを取ることも可能。この業界は、土日仕事の場合がある代わりに、その分まとめて休みが取れるので、他の業界よりも旅行に行きやすいと思う。

学 生：育児休暇はどれくらい取得できるのか。

技術者：弊社では1年。ただ、自分の場合は保育所への入所手続きの都合上、1年未満で復帰した。法律上、時短勤務や看護休暇など、制度がたくさんある。私の場合は、自分で調べて会社に認めてもらった。

●技術者からのアドバイス

- ・女性技術者の先輩がいる会社に入社したほうが、会社も女性への配慮や扱いに慣れているので、よいと思う。
- ・この業界には女性が少ないがゆえに、他社の女性技術者とも仲良くなりやすい。大変なイメージもあるが、その仕事をやりたいかどうかだと思う。やってみたいなと思ったら、一回やってみた方がよい。

●今日の感想

2年生 将来のことを決めずに参加したが、ドローンの操縦は貴重な体験だった。

2年生 今日見学したような仕事は、自分の進路として考えていなかったが、女性でもできるのだと分かった。会社にもよると思うが、福利厚生も充実している。この仕事への興味が出た。地元でもこのような会社を探してみたい。

4年生 一番ためになったのは、技術者の方が、自分で権利をいろいろ調べて会社に訴えた点。主張していくことが大切だと思った。

4年生 自分の進路はすでに決まっている。男性に負けないような技術や几帳面さを活かしてがんばりたい。

1年生 元々、現場監督になりたいくて、この学校に来た。今日はリアルな話が聞けてよかった。

1年生 今日体験して、イメージしていたのと全然違った。地元で働こうと思っていたが、富山の会社もいいなと思った。 ※滋賀県出身

1年生 これまで、企業の方から話を聞くことはあったが、女性技術者の話を聞くことはなかったので、今日はよい経験になった。

●終了後のインタビュー

1年生 この業界で女性が活躍しているイメージがなかったが、今日の現場を見学して、女性も男性と同等に仕事ができると感じた。

1年生 将来、子どもができた時に休みが取れるか不安があった。今日話を聞いた3人の女性技術者の方は、皆、楽しそうだった。大変でも自分の仕事に誇りを持ってやっていることが伝わってきた。今日はほとんど知識がないまま参加したが、かなり興味が湧いた。進路選択では、建設業以外のほかの業界も見てから決めたい。

平成30年7月13日(金)、富山大学都市デザイン学部都市・交通デザイン学科の学生(1年生 6名)を対象に、「まちなか授業フィールドワーク」講義に協力し、現場見学会＆意見交換会を開催しました。

「まちなか授業フィールドワーク」とは、富山県内の様々な土木の現場を訪問し、土木技術を学ぶ一環として同大学が企画した教育プログラムであり、当協会として社会インフラ整備の一役を担う建設コンサルタント業の仕事紹介をさせていただきました。

7月27日には、富山の中心市街地である「グランドプラザ」において、一般市民が見守る中、学生による報告会が開催されました。

建設コンサルタントの役割や新湊大橋の概要についての講義＆意見交換会



久保田先生による開会挨拶



講義＆意見交換会の状況

◆講義＆意見交換会の内容

〔第1部：建設コンサルタントの役割〕

- ・建設コンサルタントは何をする会社か？
- ・建設コンサルタントのミッション
- ・建設コンサルタントのビジネスモデル

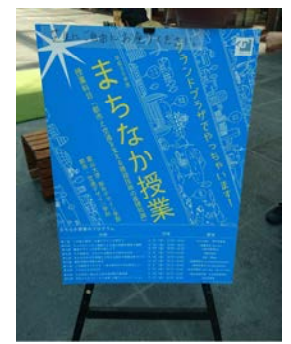
〔第2部：新湊大橋の概要〕

- ・橋の概要と構造的な特徴
- ・大規模地震や振動に対する対策 など

学生による報告会(平成30年7月27日)



報告会の状況(グランドプラザにて)



現場見学会(新湊大橋)



現場見学会の状況

◆現場見学会の目的

- ・事前に受けた講義の内容を現場で再確認
- ・図面等では感じ取れないスケールを体感
- ・直に目で見て初めて気づく疑問の発見



前半の講義より現場見学会の場の方が活
発な意見交換が行われた

◆報告会を傍聴しての感想

- ・今回の講義で学んだことを堂々と発表していた
- ・難しい質問にも何とか答えようとする姿が印象に残った
- ・公共交通を軸としたコンパクトシティを目指す富山の街をフィールドとして学んだことを今後の活躍に活かしてもらいたい

H30年度新教育プログラム

「富山建設界の業界研究を通じたキャリア形成支援と県内定着の推進」

実施報告

2018年10月25日（木） 13：10～14：40

富山県建設業協会高岡支部と 学生との意見交換会

学生たちの思考， どうして富山に残らない？， どうして建設業を選ばない？

学生25名
企業11名



女子学生のための現場見学会 （富山県建設業協会共催）

2018年10月29日（月）休講日

現場見学①庄川・柳瀬護岸災害復旧その2工事（女性監理技術者）

現場見学②小矢部川・西中野堤防強化工事（女性監理技術者）



2018年11月14日（水） 17：00～19：00

県内建設・環境系企業研究会



(一社)富山県建設業協会

	会社名
1	大高建設(株)
2	共和土木(株)
3	丸新志鷹建設(株)
4	朝日建設(株)
5	(株)高田組
6	辻建設(株)
7	(株)牧田組
8	砺波工業(株)
9	松本建設(株)

(一社)斜面防災対策技術協会富山支部
富山県地質業協会

	会社名
1	ダイチ(株)
2	(株)アーキジオ
3	(株)村尾地研
4	安達建設(株)
5	野原建設(株)

(一社)富山県測量設計業協会

	会社名
1	北陸コンサルタント(株)
2	(株)新日本コンサルタント
3	(株)上智
4	北建コンサル(株)
5	(株)寺島コンサルタント
6	(株)明和
7	(株)雄川コンサルタンツ

環境系企業

	会社名
1	日本海環境サービス(株)
2	アースコンサル(株)
3	(株)アイザック
4	(株)富山環境整備

参加企業：25社

参加学生：学生42名（B3、B4、M1）

富山県立大学

企業研究会を初開催

建設・環境系企業25社が参加

富山県立大学(射水市黒河)は14日、工学部環境・社会盤工学科の学生が県内の建設・環境系企業と情報提供や意見交換などを通じて、建設業界の魅力を触れる「企業研究会」を初めて開催した。



あいさつする伊藤始教授

研究会を初めて開催した。同大学の生協食堂で行われた企業研究会には、同学科の3、4年および大学院1年の学生約50名と、富山県建設業協会加盟の9社、斜面防災対策



企業関係者と学生との面談

でほしい」と述べた。

技術協会富山支部・富山県地質調査業協会加盟の5社、富山県測量設計業協会加盟の7社および環境系企業4社の計25社の幹部、総務・人事担当、技術者などの関係者が参加した。

冒頭、同学科の伊藤始教授があいさつし、「この数年、学生達があまり企業のことを知らずに就職活動をしている。企業のことを学生達に教えるのを防ぐために、企業とのつながりをつくる。非常に良い機会なので、チャンスだと思つて、給料、待遇、普段聞けないことなど、いろいろ聞いてほしい」と述べた。

高岡土木 高岡環状線橋梁下部工工事

清水工業らが落札

富山県高岡土木センターは14日、「主要地方道高岡環状線 道路改良 橋梁下部工(P2-14)工事」の2件を条件付き一般競争入札(総合評価方式)で落札した。

工事場所は高岡市二塚地内、工期は2件とも平成31年3月28日までとなつて

「100年を超える歴史がある」「国際事業部がある」「地元密着で事業を展開」など、会社の特徴、事業内容、歴史などをアピールした。学生らは10分ずつ、4つの企業について、1分ずつのPRタイムが与えられ、「働き方改革に力を入れている」「どう自己啓発をするかを大切にしている」「県立大の卒業生が多い」「しっかりと現場監督に育てる」「休日・休

31・32年度の指名願ひ(定期)

1月4日から受け付け

魚津市は、平成31年度および32年度の建設工事、測量・建設コンサルタン業務などの入札参加資格審査申請(定期受付)を、例年より1カ月前倒しし、1月4日から1月

入善町 愛本新 35年

入善町は、(一)防災減災事業愛地区の事業探成31年度の重点規で盛り込み県

路を延長800mで暗渠化するも

期間は平成35年5年間で、事業5000万円を

受本新清水地に位置し、受益88ha、町によ

腹斜面崩落によ

安本新清水地

に位置し、受益

88ha、町によ

腹斜面崩落によ

安本新清水地

に位置し、受益

88ha、町によ

腹斜面崩落によ

安本新清水地

に位置し、受益

88ha、町によ

腹斜面崩落によ

安本新清水地

に位置し、受益

88ha、町によ

腹斜面崩落によ

安本新清水地

に位置し、受益

88ha、町によ

腹斜面崩落によ

安本新清水地

に位置し、受益

88ha、町によ

腹斜面崩落によ

安本新清水地

に位置し、受益

88ha、町によ

神左浄化センター電気設備修繕

高岡土木

富山県高岡土木センターは14日、「神通川下水処理場排水浄化センター」を条件付き一

富山県高岡土木センターは14日、「神通川下水処理場排水浄化センター」を条件付き一

富山県高岡土木センターは14日、「神通川下水処理場排水浄化センター」を条件付き一

富山県高岡土木センターは14日、「神通川下水処理場排水浄化センター」を条件付き一

富山県高岡土木センターは14日、「神通川下水処理場排水浄化センター」を条件付き一

富山県高岡土木センターは14日、「神通川下水処理場排水浄化センター」を条件付き一

富山県高岡土木センターは14日、「神通川下水処理場排水浄化センター」を条件付き一

富山県高岡土木センターは14日、「神通川下水処理場排水浄化センター」を条件付き一

富山県高岡土木センターは14日、「神通川下水処理場排水浄化センター」を条件付き一

富山県高岡土木センターは14日、「神通川下水処理場排水浄化センター」を条件付き一

富山県高岡土木センターは14日、「神通川下水処理場排水浄化センター」を条件付き一

富山県高岡土木センターは14日、「神通川下水処理場排水浄化センター」を条件付き一

富山県高岡土木センターは14日、「神通川下水処理場排水浄化センター」を条件付き一

富山県高岡土木センターは14日、「神通川下水処理場排水浄化センター」を条件付き一

富山県高岡土木センターは14日、「神通川下水処理場排水浄化センター」を条件付き一

富山農林 地すべり防止(袖ノ木ボリ)共栄興業が落

富山県富山農林振興センターは14日、「地すべり防止(袖ノ木)ボリ工」を条件付き一

富山県富山農林振興センターは14日、「地すべり防止(袖ノ木)ボリ工」を条件付き一

富山県富山農林振興センターは14日、「地すべり防止(袖ノ木)ボリ工」を条件付き一

富山県富山農林振興センターは14日、「地すべり防止(袖ノ木)ボリ工」を条件付き一

富山県富山農林振興センターは14日、「地すべり防止(袖ノ木)ボリ工」を条件付き一

富山県富山農林振興センターは14日、「地すべり防止(袖ノ木)ボリ工」を条件付き一

富山県富山農林振興センターは14日、「地すべり防止(袖ノ木)ボリ工」を条件付き一

富山県富山農林振興センターは14日、「地すべり防止(袖ノ木)ボリ工」を条件付き一

富山県富山農林振興センターは14日、「地すべり防止(袖ノ木)ボリ工」を条件付き一

富山県富山農林振興センターは14日、「地すべり防止(袖ノ木)ボリ工」を条件付き一

1年、2年生の低学年を対象として（希望する3年生含む）、県内企業と学生が直接対話できる企業研究会の実施（県内企業を知ってもらう人口対策）

- 新年2月9日（土）午後13時～15時半（予定）
- 1年、2年（希望する3年含む）120名程度と県内企業との個別企業研究会
- 建設、斜面・地質、測量設計から25社程度、環境・衛生系から5社程度募集したい。なお、OBのいる企業を優先。
- 学生を4人程度のグループに分けランダムに5社と直接面談するシステム
- 30分程度の業界紹介後、1グループ20分×5社で2時間程度。スタンプラリー方式。
- 合同企業説明会の企業ブースのイメージ
- 大講義室、教職員コモン、L201、L202、L203、L204、L205教室を予約済み

平成 30 年 11 月 30 日

【担当】

富山労働局職業安定部職業安定課

課 長 山 崎 英 治

課長補佐 東 井 勇 一

地方職業指導官 竹 内 睦 美

電 話 076(432)2782

報道関係者 各位

平成31年3月新規大学等卒業予定者の 内定状況(10月31日現在)について

富山労働局では、平成30年10月31日現在の平成31年3月大学等卒業予定者の内定状況を取りまとめましたので、概要を公表いたします。

大学等の内定率は、83.5%

(内定率の集計にあたり、今年度より、就職希望者数は、進路未定者や就職活動状況の把握ができない者を除き、調査日現在で真に就職を希望しているものに限定したため、前年同期との比較はできません。)

(参考) 従前の方式で集計した場合の内定率 71.3% (前年度同期比 6.8ポイント増)

ハローワークでは、ジョブサポーターが中心となって各学校と連携し新卒者の就職支援を進めています。

引き続き各学校と連携して、未内定者に対する就職支援に努めてまいります。

※この調査は、富山労働局管内の大学、短大、高専、専修学校、能力開発校23校から10月31日現在の内定状況を報告してもらい、取りまとめたものです。

(参考) 高校卒業予定者のハローワーク求人に係る内定状況について (平成30年10月末現在)

高校卒業予定者の内定状況については、政府の公式見解として文科省の集計結果を用いることになっているため、参考として公表するものです。(文科省が集計する調査対象(※)とは内容が異なっておりますのでご注意ください。)

なお、富山県内の高校卒業予定者の公式な内定状況については、文科省の10月末、12月末、3月末現在の内定状況の公表にあわせて、富山県教育委員会から公表される予定です。

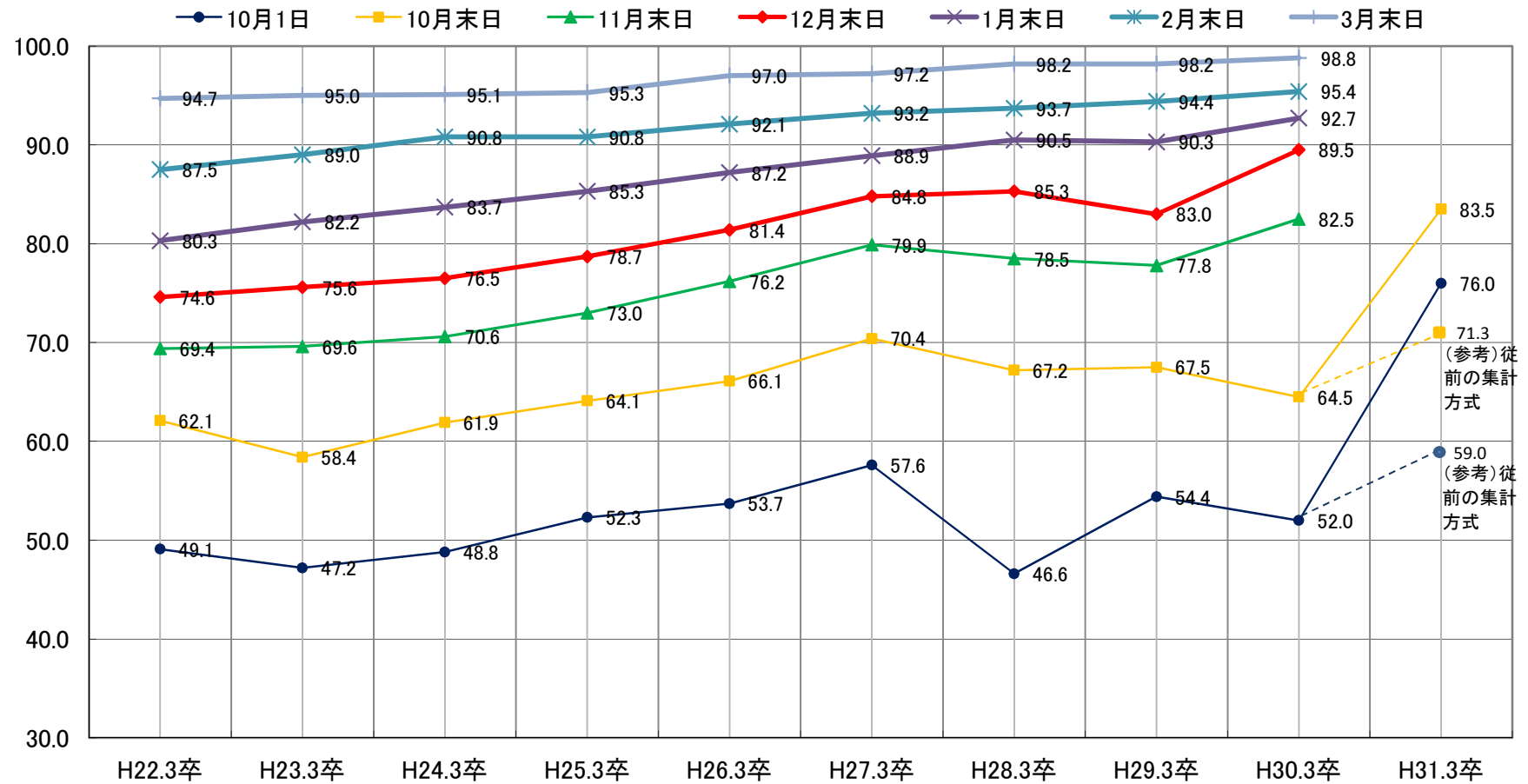
○求人倍率…2.81倍 (前年同期比 0.25ポイント増)

○内定率…89.9% (前年度同期比 1.2ポイント増)

※調査対象

	特別支援学校及び高等学校専攻科の生徒	公務員希望者及び縁故就職
厚労省	含む	含まない
文科省	含まない	含む

新規大学等卒業予定者の就職内定率の推移



新規大学等卒業者の就職状況

富山労働局職業安定部職業安定課

		10月1日	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
平成18年度	就職希望者数(人)	3,675	3,679	3,669	3,679	3,643	3,565	3,523
	就職内定者数(人)	1,664	2,249	2,608	2,806	3,022	3,183	3,349
	就職未内定者数(人)	2,011	1,430	1,061	873	621	382	174
	就職内定率(%)	45.3	61.1	71.1	76.3	83.0	89.3	95.1
平成19年度	就職希望者数(人)	3,350	3,375	3,373	3,367	3,348	3,282	3,299
	就職内定者数(人)	1,811	2,165	2,427	2,645	2,859	3,005	3,146
	就職未内定者数(人)	1,539	1,210	946	722	489	277	153
	就職内定率(%)	54.1	64.1	72.0	78.6	85.4	91.6	95.4
平成20年度	就職希望者数(人)	3,315	3,324	3,313	3,288	3,246	3,216	3,158
	就職内定者数(人)	1,847	2,160	2,453	2,626	2,792	2,914	3,002
	就職未内定者数(人)	1,468	1,164	860	662	454	302	156
	就職内定率(%)	55.7	65.0	74.0	79.9	86.0	90.6	95.1
平成21年度	就職希望者数(人)	3,031	2,993	2,961	2,951	2,922	2,884	2,825
	就職内定者数(人)	1,489	1,859	2,054	2,200	2,345	2,523	2,674
	就職未内定者数(人)	1,542	1,134	907	751	577	361	151
	就職内定率(%)	49.1	62.1	69.4	74.6	80.3	87.5	94.7
平成22年度	就職希望者数(人)	3,107	3,124	3,105	3,084	3,047	2,987	2,952
	就職内定者数(人)	1,465	1,825	2,160	2,333	2,506	2,659	2,805
	就職未内定者数(人)	1,642	1,299	945	751	541	328	147
	就職内定率(%)	47.2	58.4	69.6	75.6	82.2	89.0	95.0
平成23年度	就職希望者数(人)	3,293	3,270	3,259	3,228	3,185	3,103	3,067
	就職内定者数(人)	1,607	2,024	2,300	2,470	2,666	2,784	2,916
	就職未内定者数(人)	1,686	1,246	959	758	519	319	151
	就職内定率(%)	48.8	61.9	70.6	76.5	83.7	89.7	95.1
平成24年度	就職希望者数(人)	3,399	3,364	3,340	3,314	3,278	3,202	3,178
	就職内定者数(人)	1,776	2,156	2,438	2,609	2,797	2,907	3,028
	就職未内定者数(人)	1,623	1,208	902	705	481	295	150
	就職内定率(%)	52.3	64.1	73.0	78.7	85.3	90.8	95.3
平成25年度	就職希望者数(人)	3,363	3,332	3,289	3,271	3,238	3,188	3,154
	就職内定者数(人)	1,806	2,201	2,505	2,663	2,824	2,935	3,058
	就職未内定者数(人)	1,557	1,131	784	608	414	253	96
	就職内定率(%)	53.7	66.1	76.2	81.4	87.2	92.1	97.0
平成26年度	就職希望者数(人)	3,403	3,374	3,363	3,358	3,319	3,269	3,257
	就職内定者数(人)	1,959	2,375	2,688	2,848	2,952	3,047	3,167
	就職未内定者数(人)	1,444	999	675	510	367	222	90
	就職内定率(%)	57.6	70.4	79.9	84.8	88.9	93.2	97.2
平成27年度	就職希望者数(人)	3,254	3,276	3,261	3,247	3,230	3,200	3,148
	就職内定者数(人)	1,517	2,202	2,559	2,771	2,922	2,998	3,091
	就職未内定者数(人)	1,737	1,074	702	476	308	202	57
	就職内定率(%)	46.6	67.2	78.5	85.3	90.5	93.7	98.2
平成28年度	就職希望者数(人)	3,317	3,282	3,261	3,259	3,201	3,169	3,124
	就職内定者数(人)	1,805	2,215	2,538	2,706	2,891	2,992	3,067
	就職未内定者数(人)	1,512	1,067	723	553	310	177	57
	就職内定率(%)	54.4	67.5	77.8	83.0	90.3	94.4	98.2
平成29年度	就職希望者数(人)	3,338	3,343	3,259	3,337	3,331	3,279	3,239
	就職内定者数(人)	1,737	2,157	2,690	2,988	3,089	3,128	3,201
	就職未内定者数(人)	1,601	1,186	569	349	242	151	38
	就職内定率(%)	52.0	64.5	82.5	89.5	92.7	95.4	98.8
平成30年度 (新集計方式)	就職希望者数(人)	2,753	3,018					
	就職内定者数(人)	2,093	2,519					
	就職未内定者数(人)	660	499					
	就職内定率(%)	76.0	83.5					
(参考) 平成30年度 (従前の集計方式)	就職希望者数(人)	3,550	3,534					
	就職内定者数(人)	2,093	2,519					
	就職未内定者数(人)	1,457	1,015					
	就職内定率(%)	59.0	71.3					

新規高等学校卒業者の求人・就職状況

		富山労働局職業安定課								
		7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
平成18年度	求人数(人)	2,699	2,982	3,092	3,183	3,235	3,261	3,318	3,334	3,339
	就職希望者数(人)	1,992	1,965	1,874	1,881	1,889	1,908	1,913	1,893	1,867
	就職内定者数(人)	—	—	1,116	1,553	1,650	1,753	1,799	1,845	1,848
	未内定者数(人)	—	—	758	328	239	155	114	48	19
	求人倍率(倍)	1.35	1.52	1.65	1.69	1.71	1.71	1.73	1.76	1.79
	就職内定率(%)	—	—	59.6	82.6	87.3	91.9	94.0	97.5	99.0
平成19年度	求人数(人)	2,925	3,226	3,332	3,434	3,451	3,465	3,485	3,494	3,508
	就職希望者数(人)	1,902	1,897	1,808	1,809	1,799	1,789	1,783	1,773	1,771
	就職内定者数(人)	—	—	1,131	1,491	1,594	1,664	1,696	1,736	1,749
	未内定者数(人)	—	—	677	318	205	125	87	37	22
	求人倍率(倍)	1.54	1.70	1.84	1.90	1.92	1.94	1.95	1.97	1.98
	就職内定率(%)	—	—	62.6	82.4	88.6	93.0	95.1	97.9	98.8
平成20年度	求人数(人)	2,679	2,822	2,900	2,974	2,985	3,004	3,017	3,027	3,031
	就職希望者数(人)	2,022	2,004	1,865	1,848	1,840	1,843	1,838	1,821	1,812
	就職内定者数(人)	—	—	1,224	1,520	1,625	1,673	1,719	1,757	1,779
	未内定者数(人)	—	—	641	328	215	170	119	64	33
	求人倍率(倍)	1.32	1.41	1.55	1.61	1.62	1.63	1.64	1.66	1.67
	就職内定率(%)	—	—	65.6	82.3	88.3	90.8	93.5	96.5	98.2
平成21年度	求人数(人)	1,345	1,510	1,607	1,693	1,780	1,843	1,936	1,958	1,965
	就職希望者数(人)	1,849	1,797	1,643	1,618	1,607	1,599	1,576	1,553	1,546
	就職内定者数(人)	—	—	814	1,183	1,322	1,397	1,441	1,491	1,521
	未内定者数(人)	—	—	829	435	285	202	135	62	25
	求人倍率(倍)	0.73	0.84	0.98	1.05	1.11	1.15	1.23	1.26	1.27
	就職内定率(%)	—	—	49.5	73.1	82.3	87.4	91.4	96.0	98.4
平成22年度	求人数(人)	1,334	1,572	1,693	1,839	1,940	2,012	2,119	2,157	2,169
	就職希望者数(人)	1,836	1,808	1,641	1,635	1,645	1,642	1,644	1,645	1,641
	就職内定者数(人)	—	—	979	1,290	1,430	1,495	1,567	1,597	1,619
	未内定者数(人)	—	—	662	345	215	147	77	48	22
	求人倍率(倍)	0.73	0.87	1.03	1.12	1.18	1.23	1.29	1.31	1.32
	就職内定率(%)	—	—	59.7	78.9	86.9	91.0	95.3	97.1	98.7
平成23年度	求人数(人)	1,705	1,958	2,096	2,199	2,259	2,308	2,382	2,417	2,420
	就職希望者数(人)	1,893	1,856	1,733	1,731	1,728	1,724	1,712	1,717	1,700
	就職内定者数(人)	—	—	1,078	1,373	1,507	1,594	1,624	1,670	1,687
	未内定者数(人)	—	—	655	358	221	130	88	47	13
	求人倍率(倍)	0.90	1.05	1.21	1.27	1.31	1.34	1.39	1.41	1.42
	就職内定率(%)	—	—	62.2	79.3	87.2	92.5	94.9	97.3	99.2
平成24年度	求人数(人)	2,180	2,412	2,519	2,591	2,642	2,681	2,701	2,733	2,740
	就職希望者数(人)	2,071	2,026	1,890	1,864	1,862	1,859	1,850	1,844	1,836
	就職内定者数(人)	—	—	1,204	1,525	1,640	1,709	1,752	1,799	1,827
	未内定者数(人)	—	—	686	339	222	150	98	45	9
	求人倍率(倍)	1.05	1.19	1.33	1.39	1.42	1.44	1.46	1.48	1.49
	就職内定率(%)	—	—	63.7	81.8	88.1	91.9	94.7	97.6	99.5
平成25年度	求人数(人)	2,296	2,500	2,687	2,827	2,888	2,928	2,969	3,004	3,008
	就職希望者数(人)	2,097	2,084	1,977	1,944	1,942	1,932	1,917	1,931	1,907
	就職内定者数(人)	—	—	1,313	1,641	1,742	1,818	1,846	1,876	1,897
	未内定者数(人)	—	—	664	303	200	114	71	55	10
	求人倍率(倍)	1.09	1.20	1.36	1.45	1.49	1.52	1.55	1.56	1.58
	就職内定率(%)	—	—	66.4	84.4	89.7	94.1	96.3	97.2	99.5
平成26年度	求人数(人)	3,034	3,213	3,351	3,478	3,516	3,556	3,588	3,603	3,605
	就職希望者数(人)	2,115	2,089	1,972	1,980	2,001	2,008	2,005	2,001	1,995
	就職内定者数(人)	—	—	1,410	1,764	1,859	1,918	1,939	1,963	1,993
	未内定者数(人)	—	—	562	216	142	90	66	38	2
	求人倍率(倍)	1.43	1.54	1.70	1.76	1.76	1.77	1.79	1.80	1.81
	就職内定率(%)	—	—	71.5	89.1	92.9	95.5	96.7	98.1	99.9
平成27年度	求人数(人)	3,680	3,891	4,059	4,151	4,184	4,220	4,253	4,268	4,275
	就職希望者数(人)	2,121	2,116	2,007	1,997	2,015	2,002	2,001	2,002	2,008
	就職内定者数(人)	—	—	1,472	1,778	1,875	1,910	1,930	1,964	2,006
	未内定者数(人)	—	—	535	219	140	92	71	38	2
	求人倍率(倍)	1.74	1.84	2.02	2.08	2.08	2.11	2.13	2.13	2.13
	就職内定率(%)	—	—	73.3	89.0	93.1	95.4	96.5	98.1	99.9
平成28年度	求人数(人)	4,084	4,263	4,387	4,443	4,470	4,483	4,507	4,518	4,530
	就職希望者数(人)	2,051	2,041	1,997	1,994	2,009	2,008	1,998	2,001	2,002
	就職内定者数(人)	—	—	1,559	1,770	1,848	1,893	1,929	1,970	2,000
	未内定者数(人)	—	—	438	224	161	115	69	31	2
	求人倍率(倍)	1.99	2.09	2.20	2.23	2.22	2.23	2.26	2.26	2.26
	就職内定率(%)	—	—	78.1	88.8	92.0	94.3	96.5	98.5	99.9
平成29年度	求人数(人)	4,748	4,879	4,971	5,062	5,073	5,093	5,122	5,133	5,146
	就職希望者数(人)	2,083	2,067	1,979	1,981	1,977	1,973	1,975	1,967	1,974
	就職内定者数(人)	—	—	1,530	1,758	1,812	1,869	1,896	1,942	1,973
	未内定者数(人)	—	—	449	223	165	104	79	25	1
	求人倍率(倍)	2.28	2.36	2.51	2.56	2.57	2.58	2.59	2.61	2.61
	就職内定率(%)	—	—	77.3	88.7	91.7	94.7	96.0	98.7	99.9
平成30年度	求人数(人)	5,078	5,250	5,293	5,320					
	就職希望者数(人)	2,048	2,025	1,855	1,891					
	就職内定者数(人)	—	—	1,446	1,700					
	未内定者数(人)	—	—	409	191					
	求人倍率(倍)	2.48	2.59	2.85	2.81					
	就職内定率(%)	—	—	78.0	89.9					

平成31年度の活動予定（富山県部会）

資料4-1

◆ 大学カリキュラムに連続講座を開設（北陸地方整備局）

	富山県立大学	
対象	1年生	2 + 4年生
学期	前期	前期
概要 (予定)	◆ 座学+現場見学	◆ 座学+現場見学



富山県立大学1年生による連続講座の様子

◆ 建設系高校における講座の開設等（北陸地方整備局・富山県・富山県建設業協会 等）

	富山工業高校			桜井高校		
対象	3年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生
学期	2学期	2学期	2学期	1学期	2学期	2～3学期
概要 (予定)	◆ 現場見学 (建設業協会)	◆ 現場見学 (埋立浚渫協会) ◆ 講座 (建設業の魅力と役割)	◆ 現場見学 (建設業協会) ◆ 講座 (インフラの歴史と役割)	◆ 現場見学 (建設業協会)	◆ 現場見学 (宇奈月ダム)	◆ 現場見学 (海岸or河川工事) ◆ 講座 (建設業の魅力と役割等)

	高岡工芸高校				南砺福野高校		
対象	3年生	2年生	2年生	1年生	1・2年生	1・3年生	1年生
学期	1学期	1学期	2学期	2学期	1学期	2学期	2学期
概要 (予定)	◆ 現場見学	◆ 現場見学 (建設業協会)	◆ 現場見学 (建設業協会) ◆ 講座 (建設業の魅力と役割)	◆ 講座 (建設業の魅力と役割)	◆ 現場見学 (利賀ダム)	◆ 現場見学 (建設業協会)	◆ 講座 (建設業の魅力と役割)

※その他、関係機関個別に現場見学等を実施予定。

建設系学生・生徒への活動【インターンシップの充実】

平成31年度の活動予定
(富山県部会)

◆ 建設系高校生へのインターンシップ

- 対象学生：建設系学科の高校生
- 実習時期：概ね7月～10月
- 実習場所：県内の企業、官公庁
- 実習内容：勤労観・職業観の育成、就業体験
- 実施機関：建設コンサルタンツ協会、測量設計業協会、北陸地方整備局
- ※ 従来の業団体との連携に加え、協議会として連携を図り、インターンシップを充実

◆ 高校生を対象としたSABO体験楽校（北陸地方整備局）

県内の高校生を対象に、砂防現場の実体験や工事施工に携わる人々との交流を通し、学校の授業では得難い砂防の工事を実際に体験。

- 対象学生：富山県内の高校生10名
- 実習時期：夏休み中2泊3日
- 実習場所：北陸地方整備局 立山砂防事務所管内

◆ キャンプ砂防（北陸地方整備局）

- 目的：中山間地域の現状を実際に体験できる場を全国の学生に提供し、地域の抱える問題点、活性化の支援のあり方、防災対策のあり方を学び、中山間地域における砂防の意義・役割を考える。
- 対象学生：砂防を専攻する大学生、又は砂防に関心を持つ大学院・大学・高専の学生
- 実習時期：概ね7月～9月の1週間程度
- 実習場所：北陸地方整備局管内砂防事業所管事務所

◆ 県内建設系大学に対するフィールドワーク等への協力

- 対象学生：建設系大学の学生
- 実習時期：7月頃（第2四半期）
- 実習場所：県内の主要土木施設
- 実習内容：フィールドワークへの協力・支援
(土木設計に関する講義・現地見学会支援、建設コンサルタントの紹介など)
- 実施機関：建設コンサルタンツ協会北陸支部

SABO体験楽校



山腹工体験



ドローン操作体験

キャンプ砂防



コンクリート打設体験

フィールドワーク実施状況



講義&意見交換会



現場見学会

普通高校・中学・小学校（保護者や教員等含む）等への取り組み

◆ ミル・シル・マナブとやまの土木・建築見学会（富山県）

- 県内大学と連携し、将来の土木技術者を目指す学生及び教員を対象とした見学会を年2回開催予定。

◆ 社会に学ぶ 14歳の挑戦（富山県教育委員会）

行動領域が広がり活動が活発になる中学2年生が、1週間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加することにより、規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、成長期の課題を乗り越えるたくましい力を身につけることを目指す。

- 時 期：地域や学校の実情等を踏まえて設定
- 期 間：1週間（実際の活動は土日を除く5日間）
- 対 象：県内全公立中学校で実施



冊子：14歳の挑戦

◆ 立山カルデラ砂防体験学習会（富山県立山カルデラ砂防博物館）

立山カルデラを実際に訪れ、自然・歴史と砂防を自分の目で確かめる。

- 日 時：7月～10月秋
- 参加資格：小学3年生以上（小学生は保護者同伴）。
- 内 容：立山カルデラまでの移動手段として、立山砂防事務所の砂防工事専用軌道のトロッコ列車を利用するコース。立山カルデラまでの移動にバスを利用するコース。
本宮砂防えん堤、護天涯の碑・噴泉、白岩砂防えん堤を巡る（文化遺産巡りコース）
白岩砂防えん堤を見学後、常願寺川下流の大転石などを巡る（常願寺川流域コース）



◆ 県政バス教室の実施（富山県）

子ども達を対象とした県政バス教室「富山どぼく発見！ツアー」の開催を予定。



普通高校・中学・小学校（保護者や教員等含む）等への取り組み

平成31年度の活動予定
(富山県部会)

◆ 土木事業を紹介する小冊子の作成“(富山県土木部)

各種の土木事業を紹介する小冊子「とやまの土木」を作成し、県内全ての学校へ配布。

◆ 市民現場見学会の実施（日本建設業連合会 北陸支部）

大学生や高専学生の夏季休暇期間（7月～9月）に現場見学会を予定。

◆ 建設コンサルタントをPRする冊子の配布（建設コンサルタンツ協会北陸支部）

建設コンサルタントの「仕事と魅力」の理解促進を図る「社会貢献活動」の一環として、北陸支部管内の小学校、中学校・高等学校に対しチラシ等を配布し、出前講座を予定。

建設コンサルタントを紹介するパンフレット「Ken Con PRIDE」（建コンで地域を創る人になろう）を平成30年5月に作成。本パンフレットにより更なるPRを行う。



パンフレット「Ken Con PRIDE」

◆ 「とやま建設フォトコンテスト」（県建設業協会）

広く一般の方々を対象に、建設業に関心、理解を深めてもらうための広報として写真を募集・表彰
募集期間：10月～翌1月

◆ 富山県立大学 ダ・ヴィンチ祭への出展

（建設コンサルタンツ協会北陸支部、県測量設計業協会、県建設業協会、富山県土木部）



ダヴィンチ祭 ペーパークラフト制作

◆ 富山大学 都市デザイン学部オープンキャンパスへの出展

（建設コンサルタンツ協会北陸支部、富山河川国道事務所）



オープンキャンパスパネル展示

その他の取り組み（富山県部会）

◆ 小学校での測量教室の開催（県測量設計業協会）

国土地理院北陸地方測量部の協力を得て地図教室と測量教室を実施予定。実習では測量機器の説明・実習のほか、身近なものを利用して「測る」知恵を学んでもらう。



富山市長岡小学校での測量教室
「地図教室と測量体験学習」

◆ 現場見学会の実施（県建設業協会、県地質調査業協会）

小学生や生徒の保護者を対象に現場見学会及び子供防災教室等を実施予定。



親子現場見学会の様子



就職直前技能向上研修



新入社員フォローアップ研修

◆ 講座、研修の充実（県建設業協会）

① 就職直前技能向上研修

次代を担う若者に対しスムーズな入職と定着の促進を図るため、理解が深まるよう就職直前技能向上研修を企画・検討

② 新入社員フォローアップ研修

生活環境の変化と業務に追われる毎日から、悩みや不安を解消できず自分を見失いがちにならないよう新入社員フォローアップ研修を充実。

③ 建設業資格取得支援講座

土木施工管理技術検定試験や建設業経理士試験の取得に対し、試験直前の対策講座を実施。建設業への魅力や仕事に対する理解を深めてもらい、担い手確保を促進。

平成31年度の活動予定

平成 3 1 年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：富山県立大学

- 今年度実施した県内定着のための施策の継続実施

平成３１年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：黒部河川事務所

- １． 桜井高校において平成30年度に実施した活動を平成31年度も継続実施する。
なお、30年度に土木部（部活動）での取り組みとして夏休みに砂防現場（トロッコ乗車）の見学を実施し。普段目にできない現場をみていただき、砂防についても学んでいただけたことが、生徒さんとの意見交換からも良くわかったので、引き続き予定したい。
- ２． 30年度の見学現場について、黒部川で実施中の災害復旧の工事現場を見学いただいた。次年度以降も、身近な黒部川や海岸の現場など意向を確認しながら計画したい。
- ３． 上記活動に際し、引き続き、建設業協会入善支部において共催の立場で協力をお願いする。
- ４． 実施にあたっては、学校側の意向も確認しながら希望する現場で対応する等、より充実した内容で取り組むようにしたい。

平成 3 1 年度の活動予定

機関名・団体名：立山砂防事務所

- ・富山県内の高校生を対象とした、工事現場での見学のみならず実体験を含めた「SABO体験楽校」を継続する。
- ・世界遺産登録推進事業関連し、人材育成として、大学生や高校を対象に立山カルデラの歴史的砂防施設群等について、若い世代への普及啓発を図る。
- ・富山県内（特に常願寺川流域）の小学生を対象に、砂防事業の必要性等について理解を深めるため、『僕ら「さぼう」探検隊！』を継続する。
- ・関係機関である、斜面防災対策技術協会富山支部と連携し、常願寺川沿の小学校を対象に「出前講座」を実施し、砂防事業の必要性等について理解してもらう。

平成31年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：利賀ダム工事事務所

○河床進入トンネル工事見学

利賀ダム建設予定地周辺の急峻な地形条件の中で施工する河床進入トンネル工事について、安全性にも配慮した見学方法を検討したうえで、担い手等の現場見学に対応していきたい。



平成 3 1 年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：富山労働局

【留意点】

今年度の取り組みに加え、学校側の要望や、所内検討を踏まえ、新たな取り組みや、他機関・団体と連携した取り組みなどを計画（予定）している事項がございましたら、書ける範囲で具体的に記載してください。

報告にあたっての説明資料等ありましたら合わせてお送りください。

○若年者地域連携事業（委託事業）において、大学生等及び高校生に対して建設業の事業所を含む企業説明会等を開催する予定（開催時期及び回数については、受託事業者の実施計画によるため未定）

○若年層を中心とした求職開拓事業（委託事業）において、建設分野を対象としたイベントを開催する予定（開催時期及び回数については、受託事業者の実施計画によるため未定）

平成 3 1 年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：日本建設業連合会北陸支部

日建連北陸支部では、建設界が担う役割や建設技術の魅力について、理解を深めてもらう目的で毎年、新潟県・富山県・石川県地区の高専、大学生を対象に支部会員会社の施工現場を見学する「市民現場見学会」開催しており、引き続き、学校側の要望や参加者アンケートの意見を踏まえ、また、発注者に事業目的等の説明も含めて実施することとしている。

平成３１年度の活動予定（※自由様式）

機関名・（一社）富山県建設業協会

・平成３０年度に取り組みを行った、「現場見学会・出前講座・保護者との懇談会」を継続し実施するとともに、以下の各種講座及び各研修の充実を図っていくこととする。

① 就職直前技能向上研修

近年、離職率が高止まりしている中で、次代を担う若者に対しスムーズな入職と定着の促進を図るため、学校側の要望等も踏まえ充実を図っていく。

② 新入社員フォローアップ研修

新入社員にとって日々の仕事が全て新しい発見であるとともに、一方で生活環境の変化や日々の業務に追われがちとなることから、悩みや不安を解消できず自分を見失うことのないよう、企業側の要望等も踏まえその充実を図っていく。

③建設業資格取得支援講座

土木・建築施工管理技術検定の取得に対し、試験直前の対策講座を実施しており、今後も資格取得によって建設業への魅力や仕事に対する理解を深めてもらう。

平成31年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：建設コンサルタンツ協会北陸支部

【富山県立大学：ダヴィンチ祭への出展】

- ・毎年8月に開催される富山県立大学・ダヴィンチ祭に出展し、建設コンサルタントの仕事を紹介
- ・年齢制限は設けていないが、小・中学生や保育園児を伴った親子での参加が多いため、建コンの仕事紹介（パネル展示・ビデオ放映・パンフレット）や親子で触れ合えるペーパークラフト制作（アーチ橋）を実施し、土木への興味を引くよう工夫。
- ・今後も継続して参加する予定であり、アンケートの実施などを企画中である。

【富山大学：オープンキャンパスへの出展】

- ・継続して都市デザイン学部オープンキャンパスへの出展を予定（建コンの仕事紹介など）

【富山大学：まちなか授業フィールドワークへの協力】

- ・富山大学が企画する教育プログラムの一つである「まちなか授業フィールドワーク」に協力し、建設コンサルタントの紹介及び現場説明会を実施。

【建コン主催の業務成果発表会への促進】

- ・北陸管内の大学生を対象に、建コン主催の「業務成果発表会」への参加を促進する
- ・学生が自ら実施している研究内容を発表すること、また協会員各社の研究発表を聴講することで、建設コンサルタントの仕事を通じ、社会インフラ整備の重要性、建設コンサルタントがその一役を担っていることを認識してもらう。

【県内大学への訪問】

- ・富山大学、富山県立大学に対し、建設コンサルタントの仕事・役割を説明

平成 3 1 年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：富山県測量設計業協会

31 年度は、一部を除き 30 年度と同様の活動を予定しています。

●31 年度も実施するもの

- ・ 出前講座 立山町立高野小学校 6 月 3 日
- ・ 出前講座 県立高岡工芸高校 4 月～6 月 3 回 実施
- ・ 測量体験 富山大学五幅キャンパス
- ・ 測量体験 富山県立大学 ダ・ヴィンチ祭

●31 年度実施しないもの

- ・ 建設系高校を対象とした測量コンテスト

議題及び報告事項

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：富山県立大学

- 以前よりほぼ毎回申し上げていますが、県外からの学生を県内に定着させる施策を検討したかどうか。

今年度の活動報告

1 活動実績

1年生	現場見学会 (10/18) 黒部河川事務所	出前講座 (11/5、12、19) 型枠施工・鉄筋組 立・左官	出前講座 (12/13) 富山県建設業協会
2年生	出前講座 (7/18) 型枠施工、鉄筋組立	インターンシップ (7/24～26) 各建設会社等	現場見学会 (11/22) 黒部河川事務所
3年生	現場見学会 (6/1) 富山県建設業協会	業務説明会 (6/12) 農水省北陸農政局	業務説明会 (6/13) 国交省北陸地方整備局

2 今後の予定

2年生 2月中旬 業務説明会（国土交通省北陸地方整備局、民間企業数社）

本校土木科 OB を含む

3月中旬 出前講座（本講OB）

3 進路先

			H 2 8	H 2 9	H 3 0 (12/17 現在)
就職	県内 建設系		5	1 1(1)	1 3(1)
	県内 その他		1 1	7	6
	県外 建設系		3	4	5
	県外 その他		0	0	0
	公務員	建設系	6	5	6
		その他	1	1	0
進学	4 年制		1 2	9	3
	その他		2	3	3
合計			4 0	4 0(1)	3 6(1)／3 8

※()内の数字は女子

※H 3 0 は進学で2名未定

4 次年度へ向けて

上記のように建設関係の就職が公務員を含め20名となっています。就職希望者の30名中建設業関係が24名ということで、一定の成果が上がっていると思います。今後も継続して説明会や見学会を開催してほしいと思います。

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名 高岡工芸高校

継続の取組

【現場見学会・出前講座】

- 5/21 （主催）富山河川国道事務所 （見学先）砺波東バイパス
（参加者）土木工学コース3年生 28名
- 9/21 （主催）富山県建設業協会 （見学先）高岡環状線など
（参加者）土木工学コース2年生 28名
- ・現場体験実習
ICT技術の活用、コンクリート非破壊試験、鉄筋組立、ドローン測量解析
- ・本校卒業生の若手技術者による講話
- 10/26 （主催）富山県建設業協会 （参加者）土木環境科・建築科1年生80名

【インターンシップ】

- 7/4～6 土木環境科土木工学コース2年生・建築科2年生 計67名
県内の建設会社、コンサルタント、設計事務所、ハウスメーカーにて

【専門技術者による出前講座】

- 左官講座（富山県左官事業協同組合） 11月～2月 （対象）土木工学コース2年生 28名
- 型枠講座（日本型枠工事業協会） 11月～2月 //
- 積算講座（(株)エージェンシーソフト） 10月～1月 （対象）土木工学コース3年生 28名

新たな取組

【専門技術者による出前講座】

- 測量講座（富山県測量設計業協会） 6月～11月 （対象）土木工学コース2年生 28名

進路状況

	土木工学コース 生徒数	進学		就職		建設系への進路決定率	
		建設系	その他	建設系	その他	全体	就職者 のみ
H26年度卒	20名	5		15		90%	93%
		4	1	14	1		
H27年度卒	19名	5		14		100%	100%
		5	0	14	0		
H28年度卒	19名	6		13		90%	100%
		4	2	13	0		
H29年度卒	29名	10		19		90%	95%
		8	2	18	1		
H30年度 （内定）	28名	5		23		89%	96%
		3	2	22	1		

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：利賀ダム工事事務所

【議題】

- 「平成30年度建設系学生・生徒への取り組み 講座開設等における役割分担（案）」において「H30年度以降、調整」となっていた富山大学（都市デザイン学部）との連携については、ブロック全体で検討した方が良いのではないか。

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：富山労働局

【ユースエール認定制度の周知】

・「若者雇用促進法」に基づき若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良であると認定されると「ユースエール認定企業」となります。

「ユースエール認定企業」になるとハローワークで重点的なPRを実施し、面接会等にも優先的に参加していただけます。また、認定マークを自社の広告に使用することによって、優良企業であることを対外的アピールすることが出来たり、公共調達における加点評価が受けられるなどのメリットがあります。

富山労働局では、２０２０年度までに県内で１８社の認定を目指していますが、１２月１８日現在、９社が認定を受けています。

具体的な認定基準は別添「若者の採用・育成に積極的で雇用管理の優良な中小企業を応援します。」に掲載してありますので、関係機関のご協力を得て、同制度の周知と活用をお願いしたいと考えています。

若者の採用・育成に積極的で 雇用管理の優良な中小企業を応援します！

若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を、若者雇用促進法に基づき厚生労働大臣が「ユースエール認定企業」として認定しています。



認定した企業の情報発信を後押しすることなどで、企業が求める人材の円滑な採用を支援し、求職中の若者とのマッチング向上を図ります。

<認定マーク>

Q「ユースエール認定企業」として認定を受けると、どんなメリットがありますか？

A ユースエール認定企業になると、以下の支援を受けることができるようになり、企業のイメージアップや優秀な人材の確保などが期待されます。

1	ハローワークなどで重点的PRを実施	「わかものハローワーク」や「新卒応援ハローワーク」などの支援拠点で認定企業を積極的にPRすることで、若者からの応募増が期待できます。また、厚生労働省が運営する、若者の採用・育成に積極的な企業などに関するポータルサイト「若者雇用促進総合サイト」などにも認定企業として企業情報を掲載しますので、貴社の魅力を広くアピールすることができます。
2	認定企業限定の就職面接会などへの参加が可能	各都道府県労働局・ハローワークが開催する就職面接会などについて積極的にご案内しますので、正社員就職を希望する若者などの求職者と接する機会が増え、より適した人材の採用を期待できます。
3	自社の商品、広告などに認定マークの使用が可能	認定企業は、若者雇用促進法に基づく認定マーク（右）を、商品や広告などに付けることができます。認定マークを使用することによって、若者雇用促進法に基づく認定を受けた優良企業であるということを対外的にアピールすることができます。
4	若者の採用・育成を支援する関係助成金を加算	若者の採用・育成を支援するため、認定企業が次の各種助成金を活用する際、一定額が加算されます。 ① キャリアアップ助成金 ② 人材開発支援助成金（旧キャリア形成促進助成金） ③ トライアル雇用助成金 ④ 特定求職者雇用開発助成金（三年以内既卒者等採用定着コース）
5	日本政策金融公庫による融資制度	株式会社日本政策金融公庫（中小企業事業・国民生活事業）において実施している「働き方改革推進支援資金（企業活力強化貸付）」を利用する際、基準利率から－0.65%での融資を受けることができます。 ※ 基準利率は、平成30年8月10日現在（期間5年以内）：中小企業事業1.16%、国民生活事業1.81%です。 ※ 適用利率は、資金使途、返済期間、担保の有無などに応じて異なる利率が適用されます。 ※ 働き方改革推進支援資金（企業活力強化貸付）の詳細は、以下のURLをご覧ください。 https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/hatarakikata_m.html
6	公共調達における加点評価	公共調達のうち、価格以外の要素を評価する調達（総合評価落札方式・企画競争方式）を行う場合は、契約内容に応じて、ユースエール認定企業を加点評価するよう、国が定める「女性の活躍推進に向けた公共調達及び補助金の活用に関する取組指針」において示されました。 ※ 公共調達における加点評価の仕組みは、原則平成28年度中に開始。 ※ 加点評価の詳細は、公共調達を行う行政機関によって定められます。



Q どのような企業が認定企業になることができますか？

A 以下の認定基準を全て満たす中小企業（常時雇用する労働者が300人以下の事業主）であれば、認定企業となることができます。

【認定基準】

1	学卒求人※ ¹ など、若者対象の正社員※ ² の求人申込みまたは募集を行っていること	
2	若者の採用や人材育成に積極的に取り組む企業であること	
3	右の要件をすべて満たしていること	・「人材育成方針」と「教育訓練計画」を策定していること
		・直近3事業年度の新卒者などの正社員として就職した人の離職率が20%以下※ ³
		・前事業年度の正社員の月平均所定外労働時間が20時間以下かつ、月平均の法定時間外労働60時間以上の正社員が1人もいないこと
		・前事業年度の正社員の有給休暇の年間付与日数に対する取得率が平均70%以上又は年間取得日数が平均10日以上※ ⁴
		・直近3事業年度で男性労働者の育児休業等取得者が1人以上又は女性労働者の育児休業等取得率が75%以上※ ⁵
4	右の青少年雇用情報について公表していること	・直近3事業年度の新卒者などの採用者数・離職者数、男女別採用者数、平均継続勤務年数
		・研修内容、メンター制度の有無、自己啓発支援・キャリアコンサルティング制度・社内検定等の制度の有無とその内容
		・前事業年度の月平均の所定外労働時間、有給休暇の平均取得日数、育児休業の取得対象者数・取得者数（男女別）、役員・管理職の女性割合
5	過去3年間に認定企業の取消を受けていないこと	
6	過去3年間に認定基準を満たさなくなったことによって認定を辞退していないこと※ ⁶	
7	過去3年間に新規学卒者の採用内定取消しを行っていないこと	
8	過去1年間に事業主都合による解雇または退職勧奨を行っていないこと※ ⁷	
9	暴力団関係事業主でないこと	
10	風俗営業等関係事業主でないこと	
11	各種助成金の不支給措置を受けていないこと	
12	重大な労働関係等法令違反を行っていないこと	

※1 少なくとも卒業後3年以内の既卒者が応募可であることが必要です。

※2 正社員とは、直接雇用であり、期間の定めがなく、社内の他の雇用形態の労働者（役員を除く）に比べて高い責任を負いながら業務に従事する労働者をいいます。

※3 直近3事業年度の採用者数が3人または4人の場合は、離職者数が1人以下であれば、可とします。

※4 有給休暇に準ずる休暇として、企業の就業規則等に規定する、有給である、毎年全員に付与する、という3つの条件を満たす休暇について、労働者1人あたり5日を上限として加算することができます。

※5 男女ともに育児休業などの取得対象者がいない場合は、育休制度が定められていれば可とします。また、「くるみん認定」（子育てサポート企業として厚生労働省が定める一定の基準を満たした企業）を取得している企業については、くるみんの認定を受けた年度を含む3年度間はこの要件を不問とします。

※6 3、4の基準を満たさずに辞退した場合、再度基準を満たせば辞退の日から3年以内であっても再申請が可能です。

※7 離職理由に虚偽があることが判明した場合（実際は事業主都合であるにもかかわらず自己都合であるなど）は取り消します。

Q 認定企業になるには、どうすればよいですか？

A 認定企業となるためには、各都道府県労働局へ申請が必要です。上記の認定基準を満たしていることを確認した後、各都道府県労働局から認定通知書を交付します。

※申請書などの提出は、ハローワークを経由して行うことができます。また、認定基準を満たしているかどうかを確認するための書類をご提出いただきます。詳細は、各都道府県労働局へお問い合わせください。

本リーフレットの内容について詳しくは、都道府県労働局、ハローワークへお問い合わせください。（融資制度の詳細は、株式会社日本政策金融公庫へお問い合わせください）

図表でみる 労働市場

30年10月



富山労働局

◎今月の特徴

・有効求人倍率(季節調整値)は1.93倍となり、前月を0.05ポイント下回りました。また、正社員の有効求人倍率は1.64倍となり、前年同月を0.17ポイント上回りました。新規求職申込件数は前年同月比で増加し、有効求職者数は減少しました。新規求人数は前年同月比で増加し、有効求人数も増加しました。

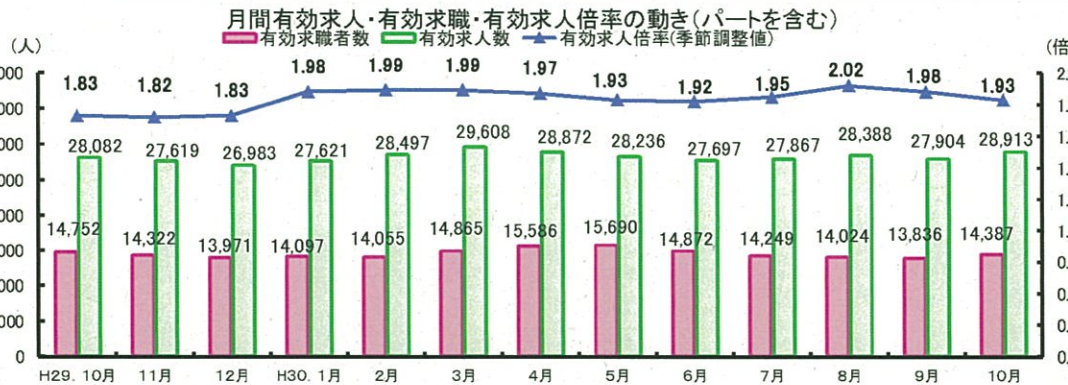
雇用情勢は着実に改善している。

・新規求人数は、前年同月比で12.9%増加し、2ヶ月ぶり、月間有効求人数は3.0%増加し、32ヶ月連続となりました。

・新規求職申込件数は、前年同月比で4.0%増加し、3ヶ月ぶり、月間有効求職者数は2.5%減少し、5ヶ月連続となりました。

※全国の失業率は季節調整値。(資料出所:総務省統計局「労働力調査」)

年月	完全失業率		有効求人倍率(季節調整値)		正社員の有効求人倍率(原数値)		就職率		富山県の完全失業率 (モデル推計値)	
	全国	富山県	全国	富山県	全国	富山県	全国	富山県		
29年 10月	2.8%	1.83倍	1.55倍	1.47倍	1.06倍	47.0%	35.6%	47.0%	29年7~9月	1.9%
30年 8月	2.4%	2.02倍	1.63倍	1.61倍	1.13倍	42.3%	31.7%	42.3%	30年1~3月	2.0%
30年 9月	2.3%	1.98倍	1.64倍	1.63倍	1.15倍	47.4%	34.9%	47.4%	30年4~6月	1.7%
30年 10月	2.4%	1.93倍	1.62倍	1.64倍	1.15倍	42.9%	33.3%	42.9%	30年7~9月	1.6%



職業紹介業務統計

(パートを含む、求人倍率は原数値)

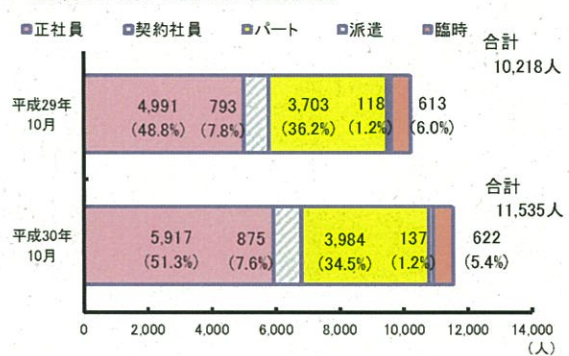
項目	安定所別	富山	高岡	魚津	砺波	氷見	滑川	県計	29年10月	前年同月比(%)
① 新規求職申込件数[件]		1,587	916	421	477	187	319	3,907	3,757	4.0
② 月間有効求職者数[人]		6,068	3,430	1,560	1,567	654	1,108	14,387	14,752	▲ 2.5
③ 新規求人数[人]		4,691	3,225	1,205	1,342	525	547	11,535	10,218	12.9
④ 月間有効求人数[人]		12,373	7,441	3,121	3,042	1,266	1,670	28,913	28,082	3.0
⑤ 紹介件数[件]		2,215	1,077	510	553	199	447	5,001	5,015	▲ 0.3
⑥ 就職件数[人]		635	389	176	235	89	153	1,677	1,765	▲ 5.0
就職率⑥/⑤×100[%]		40.0	42.5	41.8	49.3	47.6	48.0	42.9	47.0	▲ 4.1
求人倍率(原数値)	新規求人倍率③/②(倍)	2.96	3.52	2.86	2.81	2.81	1.71	2.95	2.72	0.23
	有効求人倍率④/②(倍)	2.04	2.17	2.00	1.94	1.94	1.51	2.01	1.90	0.11

産業別新規求人状況(パートを含む)

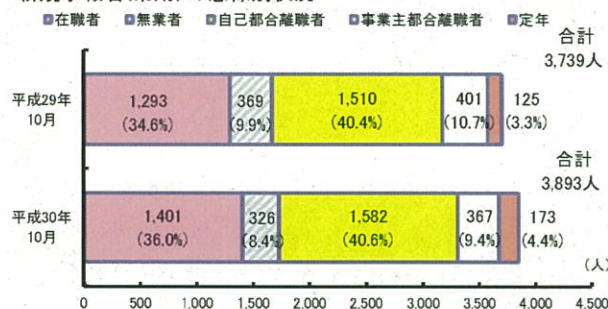
[単位:人]

産業分類	年月	30年10月	30年9月	29年10月	前年同月比(%)
計		11,535	9,075	10,218	12.9
建設業		1,156	964	968	19.4
製造業		2,380	1,857	2,108	12.9
食料品		304	281	292	4.1
繊維工業		122	93	118	3.4
化学工業		151	163	133	13.5
プラスチック製品		122	177	154	▲ 20.8
金属製品		397	322	317	25.2
はん用・生産用・業務用機械器具		492	242	405	21.5
電子部品・デバイス・電気機械器具		181	161	155	16.8
運輸・郵便業・情報通信業		791	534	753	5.0
卸売・小売業・宿泊業・飲食サービス業		2,480	2,068	2,305	7.6
医療福祉・学術研究・芸術・娯楽・生活関連・サービス業		4,122	3,135	3,570	15.5
その他		606	517	514	17.9

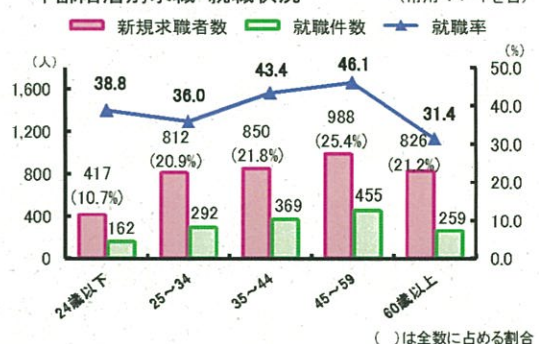
新規求人数の雇用形態別状況



新規求職者(常用)の態様別状況

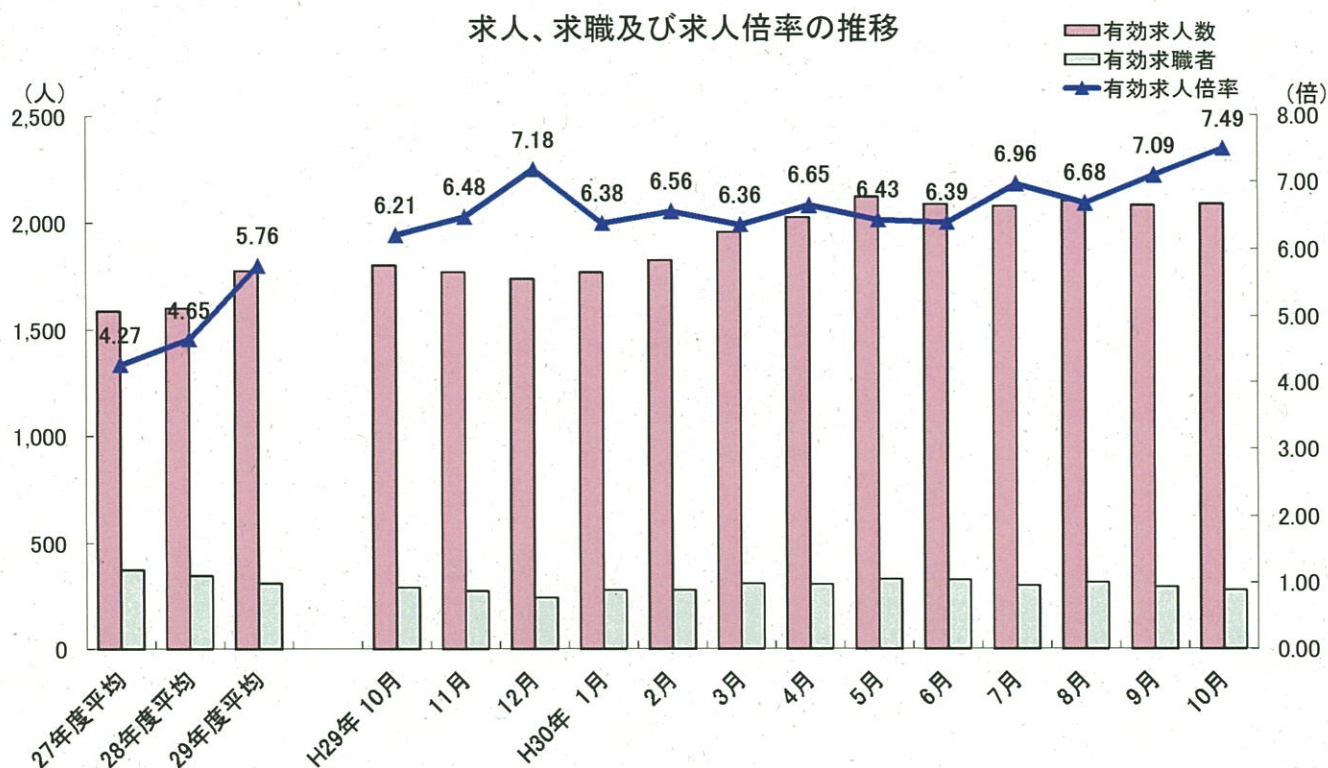


年齢階層別求職・就職状況



【建設関係】求人、求職及び求人倍率の推移

富山労働局 職業安定部



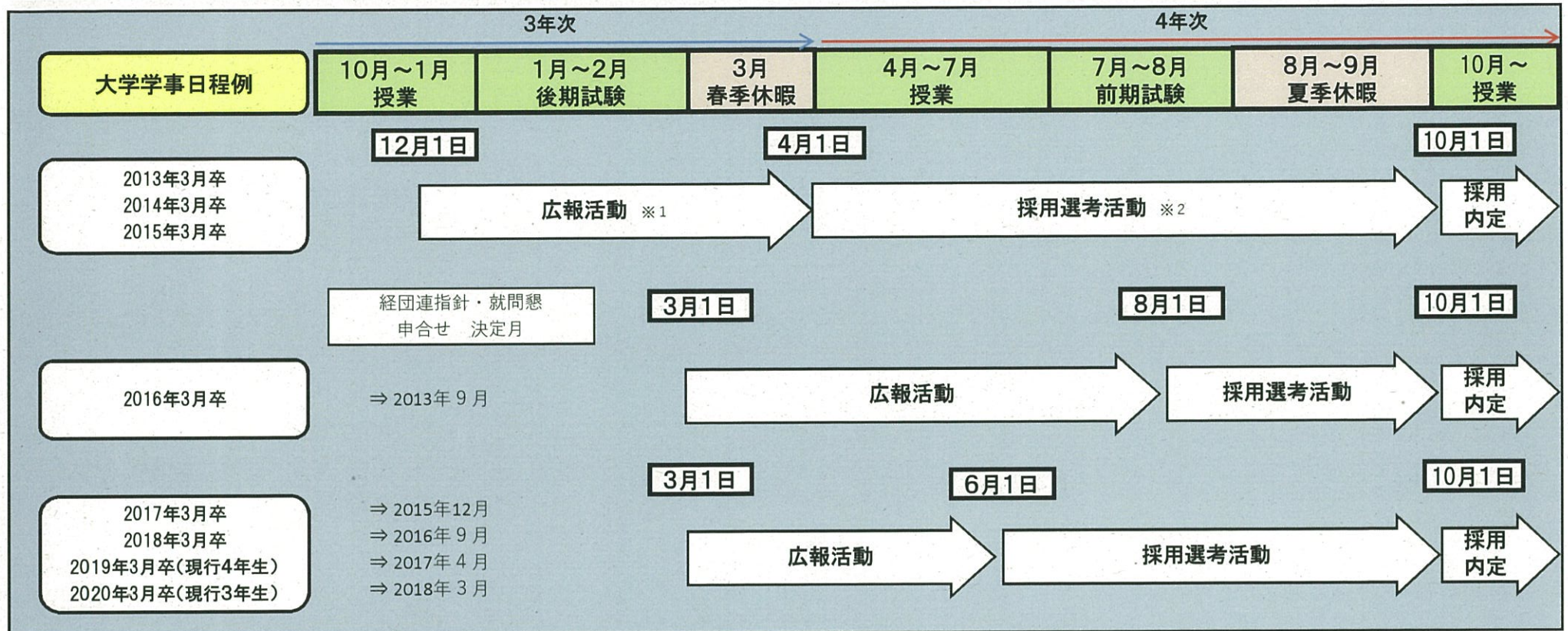
【常用】

建設関係 09,70～73	有効求職者数			有効求人数			有効求人倍率			就職件数		
	計	フルタイム	パート	計	フルタイム	パート	計	フルタイム	パート	計	フルタイム	パート
27年度平均	372	324	48	1,588	1,564	24	4.27	4.83	0.49	54	53	1
28年度平均	344	303	41	1,602	1,574	28	4.65	5.19	0.68	48	47	1
29年度平均	308	268	40	1,776	1,742	34	5.76	6.50	0.84	45	43	2
H29年 10月	290	253	37	1,801	1,766	35	6.21	6.98	0.95	47	46	1
11月	273	235	38	1,770	1,730	40	6.48	7.36	1.05	36	33	3
12月	242	207	35	1,738	1,700	38	7.18	8.21	1.09	21	19	2
H30年 1月	277	239	38	1,768	1,733	35	6.38	7.25	0.92	30	29	1
2月	278	241	37	1,824	1,790	34	6.56	7.43	0.92	40	35	5
3月	307	271	36	1,953	1,917	36	6.36	7.07	1.00	58	56	2
4月	304	259	45	2,022	1,977	45	6.65	7.63	1.00	41	37	4
5月	329	285	44	2,117	2,071	46	6.43	7.27	1.05	61	58	3
6月	326	280	46	2,082	2,026	56	6.39	7.24	1.22	46	45	1
7月	298	265	33	2,073	2,024	49	6.96	7.64	1.48	44	42	2
8月	314	276	38	2,098	2,037	61	6.68	7.38	1.61	41	40	1
9月	293	251	42	2,078	2,024	54	7.09	8.06	1.29	44	44	0
10月	278	233	45	2,083	2,027	56	7.49	8.70	1.24	40	39	1

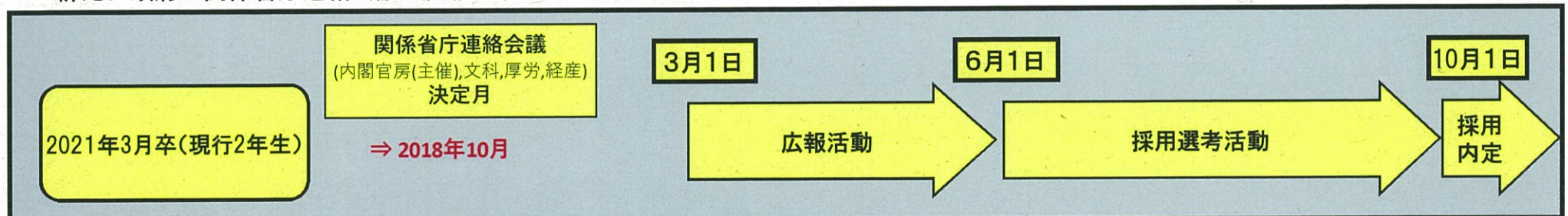
※ 建設関係は、09建築・土木技術者等、70建設躯体工事の職業、71建設の職業、72電気工事の職業、73土木の職業の合計

※ 年度平均は、四捨五入の関係から、一般とパートの計と一致しないことがある。

新規大学卒業予定者等の就職・採用活動開始時期について



<新たに政府が関係省庁連絡会議を開催し、以下の日程を決定>



※1 広報活動：採用を目的とした情報を学生に対して発信する活動。採用のための実質的な選考とならない活動。

※2 採用選考活動：採用のための実質的な選考を行う活動。採用のために参加が必須となる活動。

※3 2022年3月卒以降の就職・採用活動日程については、2019年度以降、改めて検討。なお、当面は現行の日程を変更する必要が生ずる可能性は高くはないであろうという認識を、関係省庁連絡会議で共有。

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：建設コンサルタンツ協会北陸支部

【留意事項（議題）】

- ・担い手確保・育成には業界全体^{（全体）}の働き方改革は重要で、そのためには業界だけの努力ではなく発注者^{（発注者）}との協力も必要です。さらに、どのように改善していくかはこれからの担い手となる人達の要望も重要だと思います。そこで、担い手確保・育成のための産官学で共同した働き方改革への取組み(まずは意見交換から)を実施することを検討すべきではないでしょうか

平成30年度合同企業セミナー開催報告

- ・建設界の担い手確保のため、建設分野の仕事を知ってもらい、将来の進路決定の参考にしてもらうことを目的に、北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（新潟県部会）主催で、新潟県下越及び中越地方の建設系の学生・生徒を対象とした合同企業セミナーを開催した。
- ・合同企業セミナーには380名が出席し、11社の企業が建設業及び自社のPR、中小企業に就職する利点等を説明した。
- ・また、セミナーに参加した学生・生徒は、同時開催したMade in 新潟新技術（土木・建築）展示発表会も見学し、建設業に関する知見を深めた。

開催概要

- ・〔日時〕平成30年11月21日（水）9:45～14:45
※午前午後各1時間ずつ実施
- ・〔会場〕朱鷺メッセ 2階中会議室
※同時開催：Made in 新潟新技術（土木・建築）展示発表会（県主催）
- ・〔主催〕北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（新潟県部会）
※協力：（一社）新潟県建設業協会

〔参加〕

①学生・生徒

新潟大学	建設学科（建築・土木）3年：30名
新潟工業高等学校	建築科2年：79名、土木科2年：39名
長岡工業高等専門学校	環境都市工学科4年：39名
新発田南高等学校	建築工学科2年：41名 土木工学科2年：39名
新潟県県央工業高校	建設工学科2年：40名
加茂農林高等学校	環境・緑地コース希望の1年：39名
新潟工科専門学校	環境測量科1年：16名
合計：380名（各学校の引率者計18名を含む）	

②企業（11社）

（株）伊藤組、（株）福田組、（株）皆川組、（株）中越興業、（株）植木組、（株）巴山組
丸運建設（株）、（株）水倉組、（株）安藤組、（株）中元組、（株）高橋工務所

※各企業10分説明。企業の選定は（一社）新潟県建設業協会の協力による。



合同企業セミナーの開催状況



Made in 新潟新技術（土木・建築）
展示発表会の見学状況

(案)

平成30年12月〇〇日

関係各位

「けんせつフェア北陸 in 富山 2019」

実行委員会 委員長

「けんせつフェア北陸 in 富山 2019」への学生・生徒ご招待について

師走の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は建設行政に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成31年10月2日（水）・3日（木）に富山産業展示館テクノホールにおきまして上記のイベントを開催します。

現在、建設業界では生産性向上を目指したICT、AI、ロボット技術等、異分野技術を積極的に取り入れた「i-Construction」を推進しており、当イベントは『みて、ふれて、知る 新技術・新工法』をサブタイトルに建設産業に関する新技術を一堂に集め、技術の一層の普及及び発展を図ることを目的に開催するもので、北陸地域では14回目の開催となります。

また、当イベントは建設界の将来の担い手となる学生・生徒の皆様に建設業の社会的役割や魅力などについて理解を深めていただき、将来の進路を考えるうえで参考としてもらうことも目的としております。

このような趣旨をご理解いただきまして、次世代を担うべく日々研鑽を重ねておられる貴学の学生・生徒の皆様に当フェアにご参加いただきたくご案内するものです。是非とも平成31年度の学校行事等に取り入れていただきますようお願い致します。

なお、会場への送迎等につきましては、当フェア実行委員会事務局で手配させていただく予定としております。

また、貴学の研究・学習成果等のブース展示につきましても産学連携の立場から歓迎いたします。

（募集要領等、詳細が決まり次第ご案内致します。）

当フェアでは学校・研究機関につきまして出展料は頂かない方針としておりますので、是非ご応募をご検討ください。

この機会を通じまして、多くの学生・生徒の皆様から多数ご参加いただきますようお願い致します。

お知らせ

「けんせつフェア北陸 in 富山 2019」について

■開催日時

平成31年10月2日（水） 9時30分～17時00分（予定）

平成31年10月3日（木） 9時00分～16時00分（予定）

見学時間は、送迎を含め開催日いずれかのうち半日程度を予定しています。

■開催場所

富山県富山市 富山産業展示館 テクノホール

（〒939-8224 富山県富山市有杉1682番）

■開催テーマ

イベント名称：「けんせつフェア北陸 in 富山 2019」

サブタイトル：「みて、ふれて、知る 新技術・新工法」

キャッチフレーズ：計画中（前回「生産性革命を支える建設技術」

■内容（以下のものが現在検討中です。）

- ・企業団体による技術発表出展ブース
- ・出展企業団体によるプレゼンテーション
- ・ICT建機、UAV等、屋外展示デモ
- ・i-con 相談コーナー
- ・学生・生徒向け企業セミナー
- ・建設技術報告会
（新技術、先端研究に関する技術報告）
- ・同上 基調講演
- ・スタンプラリー
- ・災害対策車両、地震体験、降雨体験車展示
- ・遠隔操縦建設機械体験コーナー



けんせつフェア北陸イメージキャラクター



屋内展示ブースの状況



学生・生徒向け企業セミナーの状況



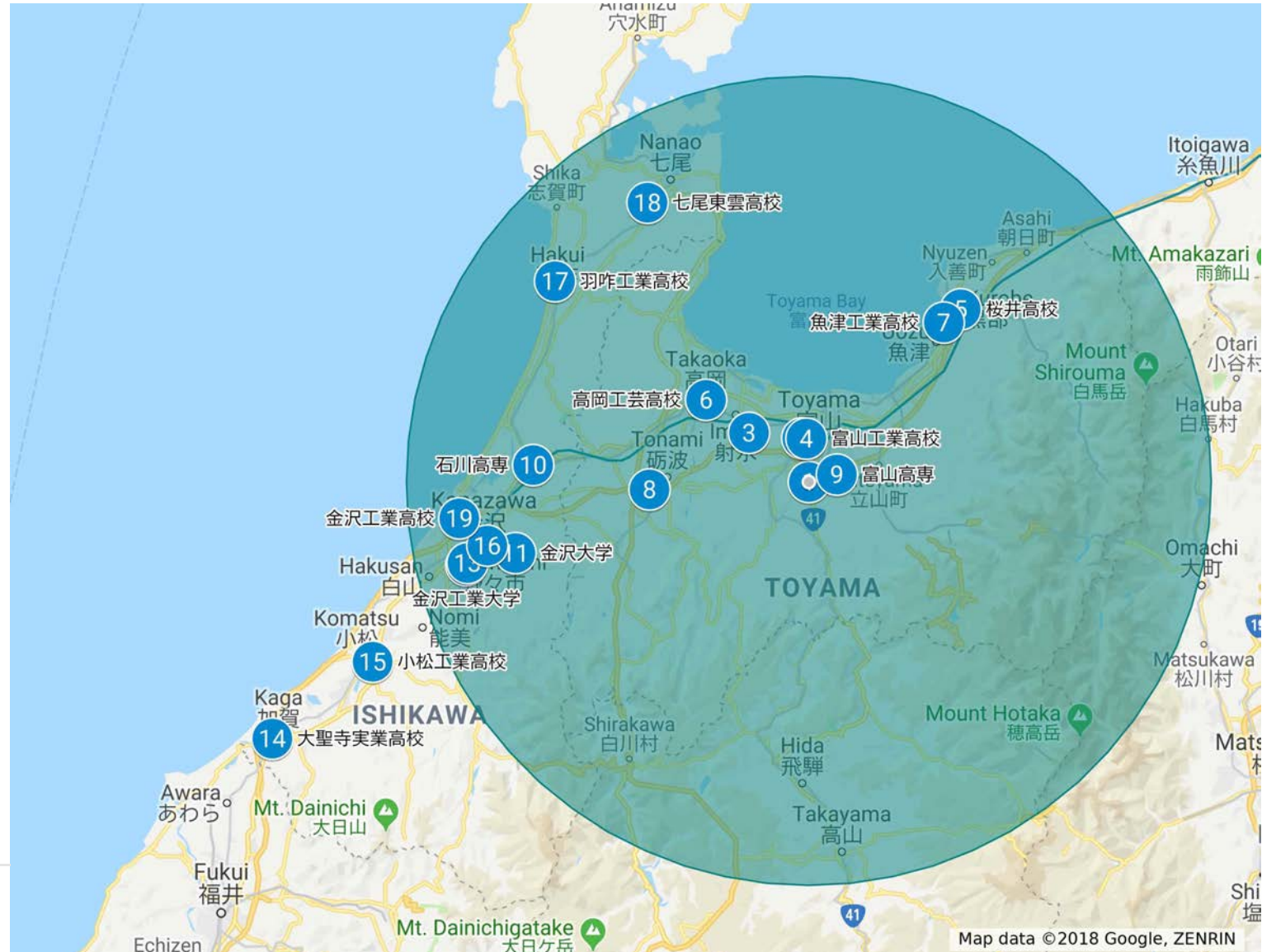
屋外 ICT 特設展示の状況

学校招待(けんせつフェア2019)

テクノホール半径60kmの学校

- ① テクノホール
- ② 富山大学
- ③ 富山県立大学
- ④ 富山工業高校
- ⑤ 桜井高校
- ⑥ 高岡工芸高校
- ⑦ 魚津工業高校
- ⑧ 砺波工業高校
- ⑨ 富山高専
- ⑩ 石川高専
- ⑪ 金沢大学
- ⑫ 金沢工業大学
- ⑬ 国際(金沢)高専
- ⑭ 大聖寺実業高校
- ⑮ 小松工業高校
- ⑯ 石川工業高校
- ⑰ 羽咋工業高校
- ⑱ 七尾東雲高校
- ⑲ 金沢工業高校

テクノホール半径60km.kml.kml



201810October						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
	全国労働衛生週間（10/1～7） 都市緑化月間					
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■担い手カレンダーとは
建設界の担い手確保に向けたイベントをまとめたカレンダーです。

(注)1.〇〇月間、〇〇の日等、土木建設に関係するものを記載しています。
2.管内の主な災害を記載しています。
3.県内の主要なイベント(供用開始など)を記載しています。

	10月のイベント					
	日	区分	対 象	主 催	開 催 場 所	内 容
上旬						
中旬	13		南砺福野高校 農業環境科1年生 生徒保護者	富山県建設業協会	南砺市	建設業の現況や施策、建設技術者の重要性を保護者に理解してもらう。
	17		富山工業高校	富山県建設業協会	富山県全域	県内の建設現場を見学し、体験学習を行う
	17		雇用管理責任者	(株)労働調査会	富山県安全衛生教育センター	労働者の雇用、雇い入れ、配置から退職に至るまでの雇用管理に必要な知識を習得することを目的とした講習
	18		南砺福野高校 農業環境科1年生	富山県建設業協会	南砺市	建設業の現況や施策、建設技術者の重要性を生徒に理解してもらう。
下旬	23		南砺福野高校 農業環境科1年生・3年生	富山県建設業協会	富山県全域	県内の建設現場を見学し、体験学習を行う
	26		高岡工芸高校 土木環境科・建築科1年生	富山県土木部	高岡工芸高校	建設業の現況や施策、建設技術者の仕事を学ぶ。
	30		奥田北小学校 2年生	富山河川国道事務所	奥田北小学校	豊田新屋立体交差事業について学ぶ
通年及び期間のイベント・取り組み						
随時		高校生及び教師	(株)労働調査会	建設業界と高等学校の生徒及び教師等がつながる機会を提供することにより、生徒側の建設業に対する理解を深め、若年者の入職を促進する。		
随時		インターンシップ申込大学	富山県地質調査業協会	会員各社で実務の学習を行う		

現場見学

一般見学

講演・講習

出前講座

インターンシップ

その他

注)上記の予定は今後、変更等がある場合があります。なお、対象者が決まっているものを「現場見学」、一般の方を対象とするものを「一般見学」としています。
問い合わせ先:北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会富山県部会事務局(北陸地方整備局富山河川国道事務所品質確保課内) TEL 076(443)4701、内線302

201811November						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
	津波防災の日					
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

■担い手カレンダーとは
建設界の担い手確保に向けたイベントをまとめたカレンダーです。

(注)1.〇〇月間、〇〇の日等、土木建設に関係するものを記載しています。
2.管内の主な災害を記載しています。
3.県内の主要なイベント(供用開始など)を記載しています。

	11月のイベント					
	日	区分	対 象	主 催	開 催 場 所	内 容
上旬	6		高岡工芸高校 建築科2年生	富山県建設業協会	富山県全域	県内の建設現場を見学し、体験学習を行う
	8		高岡工芸高校 土木環境科2年生	富山県測量設計業協会	高岡工芸高校	設計コンサルト業の仕事内容の講義と最新測量機器の使用体験
中旬	12		富山県立大学	北陸地方整備局 企画部	小矢部市	小矢部地区現場見学
下旬	22		桜井高校 2年生	黒部河川事務所	黒部市	河川工事現場見学
通年及び期間のイベント・取り組み						
随時		高校生及び教師		(株)労働調査会	建設業界と高等学校の生徒及び教師等がつながる機会を提供することにより、生徒側の建設業に対する理解を深め、若年者の入職を促進する。	
随時		インターンシップ申込大学		富山県地質調査業協会	会員各社で実務の学習を行う	

 現場見学

 一般見学

 講演・講習

 出前講座

 インターンシップ

 その他

注)上記の予定は今後、変更等がある場合があります。なお、対象者が決まっているものを「現場見学」、一般の方を対象とするものを「一般見学」としています。
問い合わせ先:北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会富山県部会事務局(北陸地方整備局富山河川国道事務所品質確保課内) TEL 076(443)4701、内線302

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
						雪崩防災週間(12/1～7)
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

■担い手カレンダーとは
建設界の担い手確保に向けたイベントをまとめたカレンダーです。

(注)1.〇〇月間、〇〇の日等、土木建設に関するものを記載しています。
2.管内の主な災害を記載しています。
3.県内の主要なイベント(供用開始など)を記載しています。

	12月のイベント					
	日	区分	対 象	主 催	開 催 場 所	内 容
上旬	7		富山大学・富山県立大学 学生及び教員	富山県土木部	富山県内	学生及び新任教員を対象に、富山県内の土木・建築の見学会を開催
中旬	11		富山工業高校 土木学科・建築学科1年生	富山県建設業協会	富山工業高校	県内の建設現場を見学し、体験学習を行う
	13		桜井高校 土木科1年生・保護者	富山県建設業協会	桜井高校	建設業界の出張PR 進路選択の参考となる様、意見交換を実施
	14		富山工業高校	富山河川国道事務所 伏木富山港湾事務所	富山工業高校	「社会資本のあゆみ」と題して、事業の歴史、背景、災害時の対応等を説明
下旬						
通年及び期間のイベント・取り組み						
随時		高校生及び教師	(株)労働調査会	建設業界と高等学校の生徒及び教師等がつながる機会を提供することにより、生徒側の建設業に対する理解を深め、若年者の入職を促進する。		
随時		インターンシップ申込大学	富山県地質調査業協会	会員各社で実務の学習を行う		

 現場見学

 一般見学

 講演・講習

 出前講座

 インターンシップ

 その他

注)上記の予定は今後、変更等がある場合があります。なお、対象者が決まっているものを「現場見学」、一般の方を対象とするものを「一般見学」としています。
問い合わせ先:北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会富山県部会事務局(北陸地方整備局富山河川国道事務所品質確保課内) TEL 076(443)4701、内線302